

令和 3 年度 事業報告

I 法人の概要

学校法人の名称・所在地・連絡先	1
建学の精神	1
教育目標	1
学生生徒等の満足度の向上を支援するための方針	1
学校法人の沿革	2～4
設置する学校・学部・学科等の学生生徒数の状況	5
役員等に関する情報	
□ 役員の概要	6
□ 理事・監事一覧	6
□ 評議員一覧	6
教職員の概要	
□ 教員数	7
□ 職員数	7
施設等の状況	7
組織図	
□ 教育及び研究施設	8
□ 事務組織	9

II 事業の概要

法人	10～11
大学	12～17
専門	18～21
高校	22～31
中学校	32～37

III 財務の概要

決算の状況	
□ 資金収支計算書の状況	38
□ 事業活動収支計算書の状況	39
□ 貸借対照表の状況	40
□ 参考(資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表について)	41

■ 学校法人の名称・所在地・連絡先

名 称：学校法人広島国際学院
所在地：広島県広島市安芸区中野六丁目 2 0 - 1
連絡先：082-820-2345

■ 建学の精神

- 建学の精神は、『教育は愛なり』である。この建学の精神は、「学生生徒一人ひとりをとことん大切にする。」本学院創立者鶴虎太郎の教育実践から生まれた。
- また、この建学の精神は経営の基本理念でもあり、この基本理念に沿って、大学にあつては「信和・協同・実践」を教育理念として教育目標を設定し、高校及び中学校にあつては教育方針を設定している。
- 教育分野においては、学生生徒の目線に合わせたさまざまな改革・改善を意欲的に取り組んでいる。
- 一方、事務分野においても、これを支援して学生生徒の満足度を一層向上していくために経営の基本方針及び具体的方針を設定している。

■ 教育目標

- 広島国国際学院大学
 - ① 講義、実験、野外実習などを通して、学生の個性と自主性を育みながら、基礎学力を修得する。
 - ② 学生同士、勉学や大学での社会的活動を通して協力することにより、視野が広く社会性に富む人材を育成する。
 - ③ 大学で学んだ実学指向の専門知識・経験を社会で活用できる人材を育成する。
- 広島国際学院専門学校
 - 自動車整備に関する専門的技術及び理論を教育し、社会に貢献できる教育豊かで実践力に富む専門的な知識を有する人材を育成する。
- 広島国際学院高等学校
 - ① 感動と学びのある学校
 - ② 愛され信頼される学校
 - ③ 良かったと評価される学校

この3つの教育目標のもとに、生徒一人ひとりに「確かな学力」を養い、社会に貢献できる人材の育成に努める。また、総合学科にはキャリア教育の一層の充実を図ると共に自己有用感の向上を目指す。
- 広島国際学院中学校
 - 学力と人間力を兼ね備えた、グローバル化の進展など社会の変化に積極的に対応し、常に己を深化させ続ける生徒を育成する。
 - 学力の 5 要素として、①知識・技能、②論理的思考力、③批判的思考力、④発信・傾聴力、⑤問題解決能力を身につけ、また、
 - 人間力の 5 要素として、①道徳・倫理観、②利他の心、③協働性、④創造性、⑤冒険心を身につける。

■ 学生生徒等の満足度の向上を支援するための方針

- 基本方針
 - ① 学生生徒等顧客を大切に、職場を明るくする。
 - ② 調和のとれた仕事の流れを作り上げる。
 - ③ 自ら能力開発に努める。
- 具体的方針
 - ① 本学院全体の連携強化と学生生徒等顧客へのサービス向上に心がけるとともに、明るく働きやすい職場の実現に努める。
 - ② 業務改善の視点を持って自己点検を行い、「最少の経費で最大の効果」が得られるよう、迅速かつ効率的な業務の遂行に努める。
 - ③ 職員一人ひとりがそれぞれの達成すべき目標を定め、常に新しい分野に興味を抱いて、知識の 涵養を図るとともに、自己研鑽に努める。

昭和02年11月	▪ 広島高等予備校を広島市国泰寺町に新設
昭和04年03月	▪ 広島高等予備校を広島市大手町に移転
昭和05年04月	▪ 広島高等学院併設
昭和13年03月	▪ 広島高等学院を廃止
04月	▪ 広島電気学校を新設
昭和19年03月	▪ 広島高等予備校を廃止
04月	▪ 広島電気学校に高等科を設置
昭和21年02月	▪ 広島電気学校を安芸郡海田町に移転
昭和23年04月	▪ 広島電気学校高等科を広島電機専門学校として新設
05月	▪ 学制改革により広島電気学校を広島電機高等学校に移行開校
昭和26年04月	▪ 学校法人広島電機学園を設置
昭和28年04月	▪ 広島電機高等学校に機械科を設置
昭和29年04月	▪ 広島電機高等学校に電気通信科を設置
昭和31年03月	▪ 広島電機高等学校の電気通信科を廃止
昭和32年10月	▪ 広島電機専門学校を廃止
昭和36年04月	▪ 鼓浦女子商業専門学校を新設
	▪ 広島電機高等学校に工業計測科、工業経営科を設置
昭和39年04月	▪ 広島電機学園短期大学自動車工業科を安芸郡瀬野川町に新設
03月	▪ 鼓浦女子商業専門学校を廃止
昭和40年04月	▪ 広島電機高等学校に普通科を設置
昭和41年03月	▪ 広島電機高等学校の工業計測科を廃止
04月	▪ 広島電機高等学校に商業科を設置
昭和42年04月	▪ 広島電機大学工学部を安芸郡瀬野川町に新設、電気工学科、電子工学科を設置
08月	▪ 学校名称を広島電機学園短期大学から広島自動車工業短期大学に改称
昭和43年04月	▪ 広島電機大学工学部に機械工学科を設置
昭和44年04月	▪ 広島電機高等学校に自動車整備科を設置
昭和45年04月	▪ 広島電機高等学校から広島電機大学附属高等学校に改称
昭和49年03月	▪ 広島電機大学附属高等学校の工業経営科を廃止
昭和63年09月	▪ 広島自動車工業短期大学を安芸区上瀬野町に移転
平成03年12月	▪ 法人名称を学校法人広島電機学園から学校法人広島電機大学に改称
平成06年03月	▪ 広島電機大学附属高等学校の商業科を廃止
04月	▪ 広島電機大学工学部に情報工学科を設置
平成08年04月	▪ 広島電機大学大学院を新設し、工学研究科に物質工学専攻、電気工学専攻、電子工学専攻、機械工学専攻（修士課程）を設置
平成09年04月	▪ 広島電機大学附属高等学校に総合システム科を設置
平成10年12月	▪ 法人名称を学校法人広島電機大学から学校法人広島国際学院に改称
平成11年04月	▪ 広島電機大学大学院工学研究科に材料工学専攻、計測制御専攻（博士後期課程）を設置
	▪ 学校名称を広島電機大学から広島国際学院大学に、広島自動車工業短期大学から広島国際学院大学自動車短期大学部に、広島電機大学附属高等学校から広島国際学院高等学校に、それぞれ改称

平成12年03月	▪ 広島国際学院大学に現代社会学部現代社会学科を安芸区上瀬野町に設置
平成14年04月	▪ 広島国際学院高等学校の自動車整備科、電気科、機械科を廃止 ▪ 広島国際学院大学工学部電子工学科をメディア情報通信学科に名称変更 ▪ 広島国際学院大学大学院工学研究科に知能情報専攻（修士課程）を設置
平成15年04月	▪ 広島国際学院大学大学院に現代社会学研究科現代社会学専攻（博士課程前期・後期）を設置 ▪ 広島国際学院大学自動車短期大学部に整備工学専攻（専攻科）を設置
平成16年04月	▪ 広島国際学院大学工学部に電気電子工学科、バイオ・リサイクル学科を設置 ▪ 広島国際学院大学に情報学部情報工学科、情報デザイン学科を設置
平成17年04月	▪ 広島国際学院大学大学院工学研究科の電気工学専攻と電子工学専攻を改組し、電気電子工学専攻（修士課程）を設置
平成18年03月	▪ 広島国際学院大学大学院工学研究科の電気工学専攻（修士課程）を廃止
平成20年04月	▪ 広島国際学院大学工学部電気電子工学科、機械工学科、バイオ・リサイクル学科を改組し、総合工学科を設置 ▪ 広島国際学院大学工学部電気電子工学科、機械工学科、バイオ・リサイクル学科を募集停止 ▪ 広島国際学院大学情報学部を情報デザイン学部に変更 ▪ 広島国際学院大学情報学部情報工学科を募集停止 ▪ 広島国際学院大学工学部電気工学科を廃止
平成21年04月	▪ 広島国際学院大学大学院工学研究科の電子工学専攻（修士課程）を廃止 ▪ 広島国際学院大学工学部メディア情報通信学科を廃止
平成22年04月	▪ 広島国際学院現代社会学部を安芸区中野に移転 ▪ 広島国際学院大学工学部情報工学科を廃止 ▪ 広島国際学院高等学校総合学科を設置、総合システム科を募集停止
平成23年03月	▪ 広島国際学院大学情報学部情報デザイン学科を廃止
平成24年03月	▪ 広島国際学院高等学校総合システム科を廃止
平成25年03月	▪ 広島国際学院大学工学部電気電子工学科、機械工学科を廃止 ▪ 広島国際学院大学大学院工学研究科電気電子工学専攻、知能情報専攻（修士課程）及び計測制御専攻（博士後期課程）を廃止
平成25年04月	▪ 広島国際学院大学工学部総合工学科を改組し、工学部食農バイオ・リサイクル学科、生産工学科を設置、情報デザイン学部情報デザイン学科、現代社会学部現代社会学科を改組し、情報文化学部情報デザイン学科、現代社会学科を設置 ▪ 広島国際学院大学工学部総合工学科、情報デザイン学部情報デザイン学科、現代社会学部現代社会学科を募集停止 ▪ 広島国際学院大学大学院工学研究科の電気電子工学専攻、機械工学専攻、知能情報専攻（修士課程）を改組し、生産創成工学専攻（修士課程）を設置 ▪ 広島国際学院大学大学院工学研究科の電気電子工学専攻、機械工学専攻、知能情報専攻（修士課程）を募集停止
平成26年03月	▪ 広島国際学院大学情報デザイン学部情報工学科を廃止 ▪ 広島国際学院大学大学院工学研究科の機械工学専攻（修士課程）を廃止
平成27年12月	▪ 広島国際学院大学工学部バイオ・リサイクル学科を廃止
平成28年04月	▪ 広島国際学院大学工学部食農バイオ・リサイクル学科を募集停止 ▪ 広島国際学院大学大学院工学研究科の物質工学専攻(修士課程)を募集停止
平成29年03月	▪ 広島国際学院大学大学院工学研究科の物質工学専攻(修士課程)を廃止

平成30年04月	▪ 広島国際学院大学工学部総合工学科、情報デザイン学部情報デザイン学科を廃止
平成30年09月	▪ 広島国際学院大学現代社会学部現代社会学科を廃止
平成31年03月	▪ 広島国際学院大学工学部食農バイオ・リサイクル学科を廃止
平成31年04月	▪ 広島国際学院中学校を海田町曾田に新設
令和02年04月	▪ 広島国際学院高等学校総合学科を募集停止（△120名）し、普通科の入学定員を増員（320→440名）
	▪ 広島国際学院専門学校を安芸区上瀬野町に新設
	▪ 広島国際学院大学自動車短期大学部の自動車工業科と専攻科を募集停止
	▪ 広島国際学院大学工学部の生産工学科、情報文化学部の情報デザイン学科と現代社会学科を募集停止
	▪ 広島国際学院大学大学院工学研究科の材料工学専攻（博士後期課程）と生産創成工学専攻（修士課程）、現代社会学研究科の現代社会学専攻（博士課程前期・後期）を募集停止
令和03年04月	▪ 広島国際学院高等学校通信制課程（普通科）を設置（入学定員80名）
	▪ 広島国際学院大学自動車短期大学部の廃止

■ 設置する学校・学部・学科等及び学生生徒数の状況

(令和4年3月31日現在)

学校・学部・学科等				開設年月	学生生徒数（人）					
					令和２年度			令和３年度		
					入学 定員	収容 定員	現員数	入学 定員	収容 定員	現員数
広島国際学院大学 大 学 院	工 学 研 究 科	材 料 工 学 専 攻 博 士 後 期 課 程	平成 11 年 4 月 (令和 2.4. 1 募集停止)	－	4	1	－	2	0	
		生産創成工学専攻 修 士 課 程	平成 25 年 4 月 (令和 2.4. 1 募集停止)	－	6	2	－	－	－	
	現 代 社 会 学 研 究 科	現代社会学専攻 博士課程（前期）	平成 15 年 4 月 (令和 2.4. 1 募集停止)	－	6	1	－	－	－	
		現代社会学専攻 博士課程（後期）	平成 15 年 4 月 (令和 2.4. 1 募集停止)	－	6	0	－	3	0	
	計			－	22	4	－	5	0	
	工 学 部	生 産 工 学 科	平成 25 年 4 月 (令和 2.4. 1 募集停止)	－	270	174	－	180	122	
	広島国際学院大学	情 報 文 化 学 部	情報デザイン学科	平成 25 年 4 月 (令和 2.4. 1 募集停止)	－	240	217	－	160	159
現 代 社 会 学 科			平成 25 年 4 月 (令和 2.4. 1 募集停止)	－	240	152	－	160	96	
計			－	750	543	－	500	377		
広 島 国 際 学 院 専 門 学 校		－	自 動 車 整 備 学 科	令和 2 年 4 月	50	50	5	50	100	22
	－	1 級 自 動 車 整 備 学 科	令和 2 年 4 月	10	10	0	10	20	1	
	計			60	60	5	60	120	23	
広 島 国 際 学 院 高 等 学 校	全 日 制 課 程	普 通 科	昭和 40 年 4 月	440	1,080	1,173	440	1,200	1,173	
		総 合 学 科	平成 22 年 4 月 (令和 2.4. 1 募集停止)	－	240	239	－	120	112	
	通 信 制 課 程	普 通 科	令和 3 年 4 月				80	240	10	
	計			440	1,320	1,412	520	1,560	1,295	
広 島 国 際 学 院 中 学 校	－	－	平成 31 年 4 月	80	160	57	80	240	106	
	計			80	160	57	80	240	106	
総 計				580	2,422	2,070	660	2,425	1,801	

□ 役員 の 概 要

役職名	定員数	現員数
理 事	6～ 9 名	7 名
監 事	2～ 3 名	2 名
評議員	13～21 名	19 名

□ 理事・監事一覧

役職名	氏名	常勤・非常勤
理事長 総長	森 崎 恒 夫	常 勤
理事 学校法人広島国際学院 名誉学院長	鶴 素 直	非常勤
理事 広島国際学院専門学校 校長	知 名 宏	常 勤
理事 広島国際学院高等学校 校長 広島国際学院中学校 校長	岡 田 隆 治	常 勤
理事	倉 田 治	非常勤
理事	竹 内 正 彦	非常勤
理事	西 本 義 和	非常勤
監事	佐 藤 泉	非常勤
監事	鶴 井 淑 弘	非常勤

□ 評議員一覧

役職名	氏名
評議員（学内）	森 崎 恒 夫
評議員（学内）	李 木 経 孝
評議員（学内）	知 名 宏
評議員（学内）	岡 田 隆 治
評議員（学内）	長 延 公 平
評議員（学内）	田 中 満 彦
評議員（学外）	竹 内 正 彦
評議員（学外）	榊 田 光 男
評議員（学外）	碓 木 健

役職名	氏名
評議員（学内）	鶴 素 直
評議員（学内）	鎌 倉 健 造
評議員（学外）	倉 田 治
評議員（学外）	西 本 義 和
評議員（学外）	加 藤 一 孝
評議員（学外）	江 口 淳
評議員（学外）	長 野 政 義
評議員（学外）	小 出 純 子
評議員（学外）	溝 隈 房 江
評議員（学外）	寺 川 博 人

■ 教職員の概要

(令和4年3月31日現在)

□ 教員数

(単位：人)

部 門 区 分	法 人 事 務 局	広 島 国 際 学 院 大 学	広 島 国 際 学 院	広 島 国 際 学 院 専 門 学 校	広 島 国 際 学 院 高 等 学 校	広 島 国 際 学 院 中 学 校	計
常 勤	—	—	31	7	85	7	130
非常勤	—	0	23	3	27	9	62
TA等	—	—	6	—	—	—	6
計	—	0	60	10	112	16	198

〔注〕 教員：TA等は、TA・非常勤実習補助員の人数をそれぞれ示す。

□ 職員数

(単位：人)

部 門 区 分	法 人 事 務 局	広 島 国 際 学 院 大 学	広 島 国 際 学 院	広 島 国 際 学 院 専 門 学 校	広 島 国 際 学 院 高 等 学 校	広 島 国 際 学 院 中 学 校	計
常 勤	14	—	16	2	7	2	41
非常勤	2	—	6	1	5	0	14
派遣等	0	—	2	0	1	0	3
計	16	—	24	3	13	2	58

〔注〕 職員：派遣等は、業務委託職員・派遣職員の人数をそれぞれ示す。

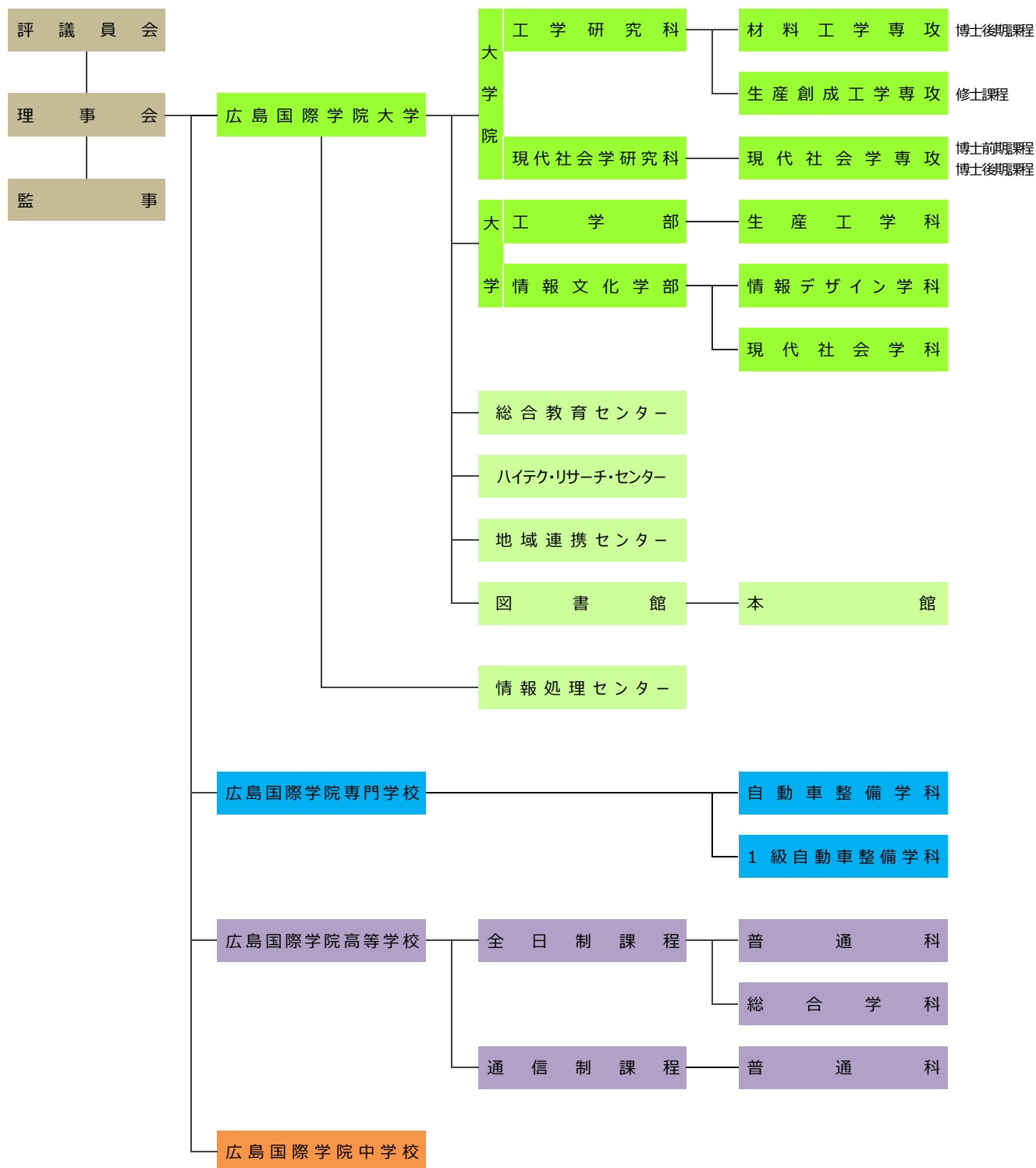
■ 施設等の状況

(令和4年3月31日現在)

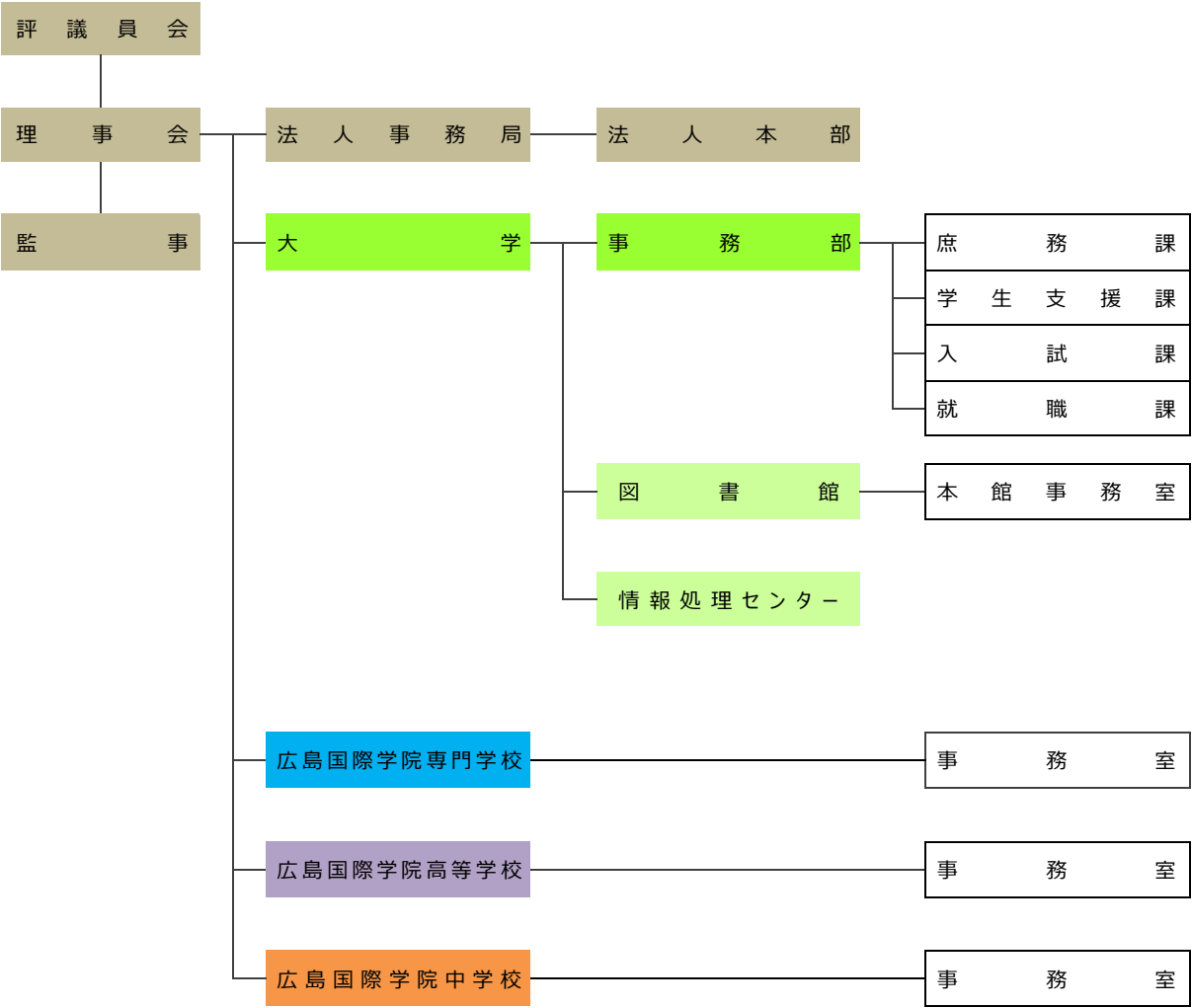
□ 現有施設設備

所在地	施設等	面積等(㎡)	取得価額(千円)	帳簿価額(千円)	摘要
中野校地 (広島県広島市安芸区中野六丁目20番1号)	校地	52,890.52	103,744	103,744	中野キャンパス
	校舎(大学)	37,740.48	6,601,909	2,163,135	
	校舎(専門)	81.00			
	校舎(高校)	31.35			
上瀬野校地 (広島県広島市安芸区上瀬野町517番1号)	校地	368,728.56	2,102,308	2,102,308	上瀬野キャンパス
	校舎(専門)	11,208.66	1,431,536	385,570	
	校舎(その他)	9,966.92	2,071,311	931,314	
海田校地 (広島県安芸郡海田町曾田1番5号)	校地	41,850.67	912,137	912,137	海田キャンパス
	校舎(高校)	20,756.54	5,535,272	4,292,913	
	校舎(中学校)	2,067.97	748,034	665,102	

□ 教育及び研究施設



□ 事務組織



法人

1 経営改善

実施目標・計画		実施予定年度	実績
経営改善 5 か年計画			
①第1期	支出は給与カット、職員採用と物件費予算を抑制していることもあり縮減しているものの、依然として支出超過	平 23～27 年度	平 23～27 年度で第 1 期終了
②第2期	第 1 期と同様に、給与・賞与カット及び最低限の職員採用による人件費抑制、並びに、物件費予算の抑制を続けてきたが支出超過から脱却できなかったため、令和元年 5 月に大学の学生募集停止、短大の専門学校への移行を決定し、経営改善を図ることとした。	平 28～令 2 年度	平 28～令和元年度で第 2 期終了
③第3期	第 2 期と同様に、支出超過となっている学校に所属する職員の給与・賞与をカットし人件費を抑制する。大学の学生募集停止、短大の専門学校への移行により職員の整理計画を遂行し、経営改善を図る。	令 2～令 4 年度	- 大学の学生募集停止から 3 年間で在学生は卒業単位修得を目指し、令和 3 年度末に仮進級を含め全員が 4 年生となった。 - 短大の専門学校への移行は、専門学校の学生募集に苦戦しているが、短大生全てが卒業して短大を廃止した。 - 職員の整理計画は継続中

2 管理運営

実施目標・計画		実施予定年度	実績
(1)	周辺会計の管理・適正化	平 27 年度～	継続中
(2)	職員交流会の開催の在り方を検討	平 28 年度～	令和 2 年度から新型コロナウイルス感染症対策により中止している。

3 校舎等の耐震化

実施目標・計画		実施予定年度	実績
(1)	大学		
①耐震診断	対象校舎等／完了	平 28 年度	平 28 年度で完了
②耐震補強工事	6 号館、2 号館（図書館）、8 号館（機械実習場）／完了	平 29・30 年度	平 29・30 年度で完了
③解体工事	1 号館（校舎）／中止 4 号館（クラブハウス等）、金工・木工教室 5 号館（校舎） 7 号館（校舎）		令和 3 年度中に結論を出すとしていたが、年度中に大学譲渡の案件が入り、中野キャンパスを現状のままの譲渡条件などにより検討は一時中断した。その後譲渡案件は中止となったため結論は出ていない。
(2)	専門（耐震基準充足）		専門学校、中学校、高等学校については、対象

(3) 高校		外または耐震化工事により全て耐震化が完了となっている。
①改築工事	校舎、体育館、橋、ホール ／完了	平 28～30 年度
②耐震補強工事	〈旧〉高校総合学科棟(旧 第 2 電気実習室) ※高校校舎の耐震化完了	平 31 年度

4 事業運営

実施目標・計画	実施予定年度	実績
(1) 短大の廃止に係る関係諸規則整備	令 3 年度～	令和 3 年度で整備が完了。
(2) 常任理事会の定例化	令 2 年度～	令和 3 年度で定例化が完了。
(3) 財政計画の策定	令 2 年度～	令和 3 年度も継続して検討した。
(4) 重点目標として中学校と専門学校の募集強化	令 2 年度	令和 3 年度も引き続き取り組みを行った。各部門において報告があるが、おおむね順調に進んでいる。

5 教育振興寄附金

実施目標・計画	実施予定年度	実績
大学、短大、高校の教育研究環境整備の充実を図ることを目的として創設	平 23～31 年度	創設募集期間平成 23～31 年度まで。
大学募集停止、短大の専門学校への移行により終了した。	令 2 年 3 月 31 日	終了
広島版「学びの変革」推進寄附金の活用を検討・推進する。	令 2 年度～	令和 3 年度実績については別欄に記載
高校、中学校、専門学校の教育研究環境整備の充実を図ることを目的として新たに募集開始	令 2 年度～	

〔受入状況〕 令和 2 年(2020)年度から

指定部門 受入年度	法 人		大 学		高 校		中 学		専 門		計	
	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)
令 2 年度	6	1,032,000	0	0	0	0	0	0	2	160,557	8	1,192,557
令 3 年度	4	33,000	2	20,000	1	3,000	0	0	2	230,000	9	286,000
計	10	1,065,000	2	20,000	1	3,000	0	0	4	390,557	17	1,478,557
平 23 年度～ の合計	674	6,701,000	909	3,897,736	1,304	11,957,500	0	0	4	390,557	3,350	25,402,998

※令和 3 年度は、令和 4 年 3 月 31 日現在の数値

〔寄附金使用額〕

(単位:円)

指定部門 使用年度	法 人	大 学	高 校	中学校	短 大	専 門	計
令 2 年度			4,875,000		1,831,368		6,706,368
令 3 年度			7,082,500				7,082,500
残 高	6,701,000	3,897,736	0	0	624,837	390,557	11,614,130

令和 3 年度中に本格的な募集を開始することを計画していたが、担当者が不在となったこと、大学譲渡の案件が入り担当部署の繁忙が重なったことにより、作業ができなかった。

従来行っていた郵送等による寄付金の募集方法については、年間 200 万円を超える経費を使い事業化していたが、令和 4 年度からは、費用対効果を勘案してこの方法は中止することとした。

今後募集方法を工夫して、経費の掛からない方法で、広島版「学びの変革」推進寄附金の活用を推進する。

大学

活動方針

- (1) 広島国際学院大学の令和 2 年度生からの学生募集停止を受けて、令和元年 7 月 20 日に開催した学生・保護者説明会で宣言した事項（「学生一人ひとりが、誇りを持ち本大学・本大学院からそれぞれの進路に進まれるよう最善を尽す。」）の目的達成のために、次の項目を今後の活動方針とする。
- 教育・研究の保証
 - 学生支援の維持・継続
 - 進路指導の維持・継続、就職先の確保
 - 課外活動等への支援
 - その他の教育環境の継続
 - 大学院生の教育・研究指導
- また、学生・保護者説明会において要望のあった「積極的な情報公開」についても、活動方針に加える。
- (2) 新型コロナウイルス感染拡大防止による取り組み
- 前年度に続き令和 3 年度も、新型コロナウイルス感染症防止のため緊急事態宣言やまん延防止など重点措置が複数回発令されたことを受けて、大学でも対策会議、大学協議会において対応を協議し、感染防止に注意を払いながら教育活動を推進した。対策を行った点は次の通り。
- 授業については、対面授業・オンライン授業やオンデマンド課題などを併用しながら対応を継続したため、令和 2 年度に比べて授業日程への影響は少なかった。
 - 対面授業を可能にするために教室内の席数を半数近く削減。食堂の席数削減と飛沫防止アクリル板を設置。
 - 学生による放課後の消毒活動の実施。
 - Web による教科書販売、履修登録、アンケート調査などの実施。
 - 課外活動については、感染防止対策を講じて事前申請し、許可された場合のみ練習・試合などの活動を行った。
 - 国や県からのメッセージ、対策会議等の通知など、その都度メールやホームページで発信し学生・教職員に徹底した。
 - 授業回数 15 回のうち講義は対面+オンラインを含めて 13 回+補講・課題 2 回を組み合わせ 15 回の授業を確保することを限度とし、教育の質を確保する方針を示した
 - 卒業証書・学位記授与式を学科別に実施した。
- (3) 次年度へ向けて
- 令和 4 年度は、事実上大学の教育課程の最終年度となるため、全ての在籍学生を卒業させるための仕組みや環境作り等を検討している。教職員は令和 3 年度の結果を受けて全ての学生を卒業させ、進路決定ができるように一丸となって努力するように取り組んでいる。

1 教育・研究の保証

1-1 教育課程（カリキュラム）の実施

実施目標・計画	実施予定年度	実績
(1) シラバス(講義計画書)の実行 授業の目的・到達目標・概要、授業計画と準備学修、成績評価の方法などをきめ細かく示したシラバスを実行する。	継続	15週の授業回数を対面+オンラインを13回+補講・課題2回を組み合わせ限度とする方針を守り運用した。
(2) 再履修クラスを設置 現学年より低年次の授業単位が修得できていない学生に対して、令和 2 年度に再履修クラスを時間割に配置して、卒業に必要な単位修得の機会を設ける。(必修科目及び選択必修科目関係)	令和 2 年度	前年度と同じく、令和 3 年度も計画に従って学科等の判断により一部再履修クラスを開講して、卒業に必要な単位修得の機会を設けた。
(3) 追試験・再試験への対応 やむを得ない事情で試験を欠席した学生に対して実施する追試験や、試験の結果が不合格の学生に対して実施する再試験について柔軟に対応する。	令和元年度～	令和 4 年度の卒業要件充足学生を増やすために、単位不認定の学生にはその期中にできるだけ追試験・再試験の機会を設けて、単位修得できるように柔軟な対応をした。

1-2 教育課程実施のための教員配置

実施目標・計画	実施予定年度	実績
令和3年度についても若干名の教員が減少する予定となっている。	令和3年度	
- 令和2年度専任教員については、定年2、転出4、その他2合計8名が退職となった。 - これについて、専任教員は補充1、再雇用2の合計31名となった。 - 今後、専任教員による授業科目数の追加と特任講師の採用、非常勤講師の追加によって授業等に対応したいと考えている。		令和3年度専任教員については、定年2、転出4、合計6名が退職となった。 - 補充については、再雇用2の合計27名となった。 - 令和3年度は、科目開講は専任教員による担当科目の追加と、転出先大学から本学退職教員を非常勤講師として派遣していただいで対応した。
- 専任教員の他大学への兼業については、1日→2日に緩和した。 - 各種委員会活動については学生支援関係・研究報告を残して、その他の委員会活動を休止した。休止した委員会の今後の協議は大学協議会で行うこととした。	令和2年度 令和3年度	- 前年度と同様に継続して取り組み中 - 各種委員会活動については学生支援関係・研究報告委員会を残して休止したが、必要事項は大学協議会で審議するために特に問題は起きていない。

1-3 教育課程に沿った教育概要

実施目標・計画	実施予定年度	実績
(1) 実践教育 ①実験実習授業 ②企業や地方公共団体からデザイン依頼授業 ③フィールドワーク体験 ④実践型授業と講義型授業を連携させてアクティブラーニングを推進	継続	- 前年度と同様に継続して取り組み中 - 新型コロナウイルス対策ため実施できない行事が続いたため、活動の範囲は縮小された。
(2) キャリア教育の推進	〃	前年度と同様に継続して取り組み中
(3) 資格取得関連科目、講座の充実	〃	- 資格取得関連科目抜粋（合格者数） ※コロナ禍の影響で受験機会の減少や、 <u>科目が受験につながる授業がほぼ終了したため受験者が少なかった。</u> ①教職課程（中学技術・高校工業）3名 ②教員採用試験新規採用（既卒）5名 ③中級バイオ技術者認定1級1名、2級1名 ④サービス接遇検定 12/18名 ⑤TOEIC受験 受験70名（昨年52） 受験生は増えたが、平均点が200点台に下がった。
(4) 教育費の重点配分（教育シンポジウムにて評価）	〃	前年度と同様に継続して取り組み中
(5) TA・SAの活用	〃	前年度と同様に継続して取り組み中
(6) 学修及び授業支援に対する学生の意見等をくみ上げる仕組み （授業評価アンケート、学生満足度アンケート等）	〃	前年度と同様に継続して取り組み中
(7) 令和2年度から新型コロナの影響により次の対応を追加した。 ①オンライン授業やメールによる課題提示等の非対面授業の積極的な推進。 ②郵送による履修登録、教科書のWeb購入を行う。 ③日程変更の提示、注意事項、諸連絡、アンケートなどWebを積極的に利用することにより統合的な告知及び管理を行う。	令和2年度～	前年度と同様に継続して取り組み中

2 学生支援の維持・継続

2-1 学生支援の新しい取り組み

実施目標・計画	実施予定年度	実績
(1) 個別リストに基づく面談等 ①令和元年9月30日付けで、在学生全員の学業成績等に係るリストを作成し、現在、卒業に向け課題のある学生を中心に面談等を行っている。	令和元年度～継続中	①引き続きリストに基づき、特に指導が必要な学生については、さらに特別支援を行っている。
②課題のある学生の中には、ほとんど授業に出ていない、連絡が取れない等、面談が行えない学生がいる。こうした学生は、様々な事情があるが、多くの労力や経費をかけて大学を続けるより進路変更を考えた方が良い場合がある。引き続き「連絡」の取り組みや保護者を交えた協議を継続する。		②令和4年度に向けての課題 ・開講科目のほとんどが卒業研究科目となり、過年度開講済み科目が開講されないために、単位不足の学生にとっては履修科目が足りず、卒業に必要な単位修得が困難になる。 ・授業は、15週の期間を単位として行うため、再履修科目を開講しても1年に2回の単位認定ができず機会が不足する。
(2) こうした丁寧な取組みに併せ、学則の規定に基づく退学勧告について、現状に合わせた退学勧告制度の見直しや除籍基準改訂の検討を行っている。	継続中	③全ての学生が卒業に必要な単位を修得できるような対策を検討している。また本人と保護者の理解、卒業への意欲と努力を確認の上で本人が頑張ること約束させる。 それでも、難しい場合は進路変更などを協議する。

2-2 教育課程編成方針に沿った教育課程の体系的編成及び教授方法の工夫・開発

実施目標・計画	実施予定年度	実績
(1) オフィスアワー、チューター制度、様々な奨学制度等、各種証明書の発行等の窓口サービスはこれまで通り継続する。	継続	・前年度と同じ取り組みを継続中。 ・新型コロナウイルスの経済的影響を考慮し、国等の支援策を学生に周知し適用を受けた。
(2) 学生相談室の悩み相談、保健室等の救急措置や保健指導、配慮や支援が必要な学生へのサポートなどの支援も、引き続きこれまで同様に継続する。	〃	学生相談室等による心のケアについても、メール等で学生に周知し、予防に取り組んだ。また、教職員研修会では、学生相談室のカウンセラーを講師として、関係する事例の研修を行った。
(3) 学生の活性化を推進（ボランティア、地域貢献等への支援）	〃	コロナ禍の影響で活動はほとんど中止され活動できなかった。
(4) 学生満足度調査 ①全学部生を対象に（年1回9月）実施 ②学生生活に関する全般について調査し、満足度向上に活用	〃	前年度と同様に継続して取り組み中
(5) 留学生の支援の継続 ①国際交流センターの留学生支援 ・ベトナム人留学生担当職員の配置 ・留学生アンケート、留学生ガイダンス ②留学生交流会（留学生と本大学教職員及び日本人学生との交流）	〃	・ベトナム人留学生担当職員が退職したため、交代要員（非常勤）を採用した。 ・留学生交流会は、令和3年度をもって活動を終え、解散した。
(6) 卒業後の証明書の発行について 閉校後の証明書の発行については法人本部で発行するが、サービス内容・発行システムについて具体的な制度設計を開始する。	令和3年度	・令和3年度は、事務組織の検討が遅れているため具体的検討はペンディングとなっている。

3 進路指導の維持・継続、就職先の確保

実施目標・計画	実施予定年度	実績
(1) 就職率 95%以上を維持する。	継続	令和3年度 85.1% (R4年4月30日現在)
(2) キャリア教育を充実する。 ▪ 「キャリアデザインⅠ、Ⅱ」の開講〔学部基礎科目〕 ▪ 3年生対象：社会人基礎力の養成講座実施	〃	就職活動の動機づけと必要な就活スキルの修得を目指して3年生対象の必修科目として実施している。この科目は、大学が閉校になるまで重点的に継続実施する。
(3) 資格取得関連科目、講座を維持する。	〃	前年度と同様に継続して取り組み中
(4) 就職ガイダンスや企業からの求人情報の提供、企業説明会などにより、進路指導・支援を継続する。	〃	前年度と同様に継続して取り組み中
(5) 学内業界研究セミナーの実施 ▪ 本大学高城体育館で、3年生を対象とした企業説明会を開催 (令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて中止としたため、別途重点的に企業個別の紹介や説明会の機会を設けて対応している)	継続	▪ 令和3年度も新型コロナウイルス感染防止対策により、開催を中止 ▪ 代替措置として、参加を予定していた企業個別の紹介や説明会の機会を設けて対応
(6) 就職課の就職支援講座の実施 就職活動に必要なスキルを養成するための講座を開催する。	〃	前年度と同様に継続して取り組み中
(7) 実績が高い広島県内を中心に企業を訪問し、継続して求人や採用を依頼する。	令和元年度～	令和3年度も新型コロナウイルス感染防止対策のため、やむなく中止した。

4 課外活動等への支援

4-1 課外活動等への支援

実施目標・計画	実施予定年度	実績
(1) 学友会やクラブ・サークル活動については、これまでと同様に活動できるよう支援する。	継続	新型コロナウイルス感染症の影響もあり、活動停止や条件付き活動などとなった。活動に当たっては、感染対策の徹底について、指導・助言を行った。
(2) 学友会活動やクラブ・サークル活動について、学友会と話し合いを続けている。昨年8月には、学友会と理事長・学長との話し合いを行っているが、今後も継続する。	〃	前年度と同様に継続して取り組み中
(3) 今後、部員数が減少して練習や対外試合、大会出場等、今までのような部活動が難しくなる場合も、部室の使用は認めるなど活動の制限は行わない。	〃	前年度と同様に継続して取り組み中
(4) 予算的には、学生数の減少に伴い学友会費が少なくなるが、学友会活動や部活動が制限されないように、大学から支援を行い、後援会、同窓会からの支援をお願いする。	〃	前年度と同様に継続して取り組み中
(5) 高城祭(大学祭)は、現行の開催方法では令和3年度が最後となる見込みであるが、記念となる高城祭となるよう、新しい企画などを学友会と学生支援課を中心に検討している。大学等からの支援を行っていく。 (令和2年度は新型コロナ拡大の影響などで中止を余儀なくされた。)	令和2年度	令和3年度の度高城祭(大学祭)は、記念となる高城祭となるよう新しい企画などを検討したが、令和3年度もコロナ禍により対面行事は中止となった。その代替えとしてオンライン配信で第54回高城祭を開催した。再生回数は延べ3400回を超えて大盛況であったが、令和4年度は残念ながら人員不足のため開催を断念することとなった。

4-2 授業外活動への支援

実施目標・計画	実施予定年度	実績
(1) 授業外活動やプロジェクト活動も、引き続き継続できるよう支援する。 卒業研究・卒業制作展や卒業論文発表会、HKGキャラプロ活動	継続	令和3年度も、コロナ禍のために予定していた事業が中止となった。HKGキャラプロ活動や卒業研究・卒業制作展の制作活動は例年通り行ったが、発表は中止となった。
(2) 社会貢献活動等の維持 ①薬物乱用防止教室 ②広島市安芸区連携協定事業	"	令和3年度も、コロナ禍のために予定していた事業が中止となった。

5 その他の教育環境の継続

5-1 教育内容の充実〔全学部の学生を対象として行う〕

実施目標・計画	実施予定年度	実績
(1) 食堂、図書館、体育館、実験・実習室、PCルーム、ネットワーク環境、サークル施設等の運営については、現在のサービス環境を維持する。	継続	前年度と同様に継続して取り組み中
(2) 今後の食堂の維持・継続については、赤字のため営業の継続が危ぶまれていたが、食堂業者や学友会とも協議を続け、一部営業時間の見直しを行った上で、後援会から支援もあり、維持・継続することとなった。	令和元年度～	令和3年度も、食堂・売店は、後援会・大学からの支援により、これまでと同様のサービス内容を維持した。

5-2 教育活動の評価とフィードバック

実施目標・計画	実施予定年度	実績
教育活動の評価とフィードバックを維持する。「授業評価アンケート」、「学生満足度アンケート」、「卒業アンケート」、「大学を明るくする箱」	継続	- 前年度と同様に継続して取り組み中 「卒業アンケート」は実施するが、「学生満足度アンケート」は、本年度をもって終了する。

6 大学院生の教育・研究指導

実施目標・計画	実施予定年度	実績
(1) 令和2年度の修士学位論文の提出予定者の大学院生は3名おり、博士学位論文の提出予定者の大学院生は1名となっている。また単位修得満期退学者の1名が博士学位論文の提出予定となっている。よって、令和2年度末には大学院生の在籍者がいなくなる予定である。	継続	在籍者は令和2年度末で0名となった。論文博士の申請について、申し込みがあれば審査可能な状態であり、維持費は必要ない為、学士課程廃止まで継続したい。
(2) 本大学院では単位修得満期退学者の博士學位論文の受付期間を3年間としているため、該当者への論文提出の可能性の確認を行って廃止の判断を行う。	令和3年度	

7 積極的な情報公開

実施目標・計画	実施予定年度	実績
(1) 大学の運営状況に関連するニュースは、トピックスとして、随時、大学の HP（ホームページ）に掲載する。	令和元年度～	前年度と同様に継続して取り組み中
(2) 上記のニュースの詳しい内容や教員の異動等の大学の動向について、年度末の成績表郵送などの機会を利用して、保護者全員に報告する。	〃	前年度と同様に継続して取り組み中
(3) 毎年 5 月に開催する後援会の定期総会において、運営状況に関する報告会（説明会）を実施する。	〃	令和 3 年度はコロナ禍の影響を受け、大学の状況を掲載した学長コメントを同封して、郵送による総会の開催を行った。
(4) 必要に応じて、臨時の報告会（説明会）を実施する。	〃	前年度と同様に随時 HP（ホームページ）に掲載して周知・報告している。

専門学校

1 教育課程

1-1 組織改編（募集停止）

実施目標・計画	実施予定年度	実績
(1) 国交省認定科目の効率的な授業計画の立案検討	令和3年度～	国交省認定科目の時間数に合わせたカリキュラムで授業を遂行（以後“新カリキュラム”）
(2) 外部講師による興味ある講演 就職講座において社会マナー、面接対応を指導	〃	- 企業講話を10、100分のセミナーを6回、チューター講話を8回実施 - 夏休みの企業訪問を継続指導

1-2 学習成果の査定（アセスメント）

実施目標・計画	実施予定年度	実績
〔授業アンケートの実施〕 (1) 授業の改善に繋がるアンケートを前・後期毎に実施	継続	新カリキュラムに対応したアンケート方法を検討
(2) 前記(1)のアンケート結果をもとに教育計画を立案	〃	アンケート方法検討のため、アンケートは未取得

2 学生支援

2-1 学習支援

実施目標・計画	実施予定年度	実績
(1) 学習動機づけのための導入教育 就職講座：前期は職業理解、後期は就職指導により高い就職内定率を維持	継続	企業講話により、前期の段階で業務内容の理解を促進
(2) 留年・退学者数の低減活動 ①週ごとの出欠管理と学生情報の共有化 ②欠席過多学生の早期発見とチューターによる指導（授業、生活） ③授業を通して学生動向の把握	〃	- 新カリキュラムに対応した出欠管理と補講方法を検討し、確立 - 学生個々の状況をチューターから教職員へ開示
(3) 1級自動車整備学科授業の効率化 国交省認定の時間数内でのカリキュラム編成	〃	- 新カリキュラムにより効率化 - カリキュラム編成は完了

2-2 生活支援

実施目標・計画	実施予定年度	実績
〔学生生活の満足度の向上〕 (1) 学生交流会（入学時／水無月祭／クリスマス）等、学内イベントの充実	継続	入学歓迎会をコロナ対策を講じて学内食堂で実施（補助企業と連携）
(2) イベントを活用し学生間、学生と教員間のコミュニケーションを促進	〃	

2-3 進路支援

実施目標・計画	実施予定年度	実績
(1) 整備士等各種資格取得の支援 2級・1級整備士等の資格取得を効率的なカリキュラムや指導体制により促進	令和3年度～	コロナ禍のため未実施
(2) 企業との懇談会 ①就職につなげる信頼関係を構築 ②重点企業（60社）との情報交換会を実施（年1回）	〃	合同での企業研究会は行わず、個々の企業に来校してもらい、就職指導を行った。

(3) 就職 3 点セットによる支援（会社訪問、就職講座受講、学内企業研究会参加） 主要企業との懇談会検討	継続	▪ 就職講座で、こまめに支援指導 ▪ 学内企業研究会は学生数が少ないため、個別対応で就職指導を実施
--	----	--

2-4 入学者受入れの方針

実施目標・計画	実施予定年度	実績
(1) 入学者の安定化を図るための調査 整備士の重要性や本校に対する認識等調査事項の検討と調査・分析を実施（内容により外部委託も検討）	継続	他校の状況を募集活動や企業を通じて概要入手し、広報活動に反映
(2) ホームページと広報資料の充実（4 月～8 月を広報強化期間と定める） ①ホームページ更新（3 年ごとに大規模更新）・ブログ・SNS のアップ回数強化。 学校完成年度（2021 年度）で本格 HP 完の予定 ②広報資料（毎年作成）・整備士になるプロジェクト（4 月末 TV 放映）参画で、4 月～8 月末までネット広告を SNS 配信。10 月～12 月は入試関連イメージビデオ作成し、YouTube で配信	〃	①HP は更新完了し、本校の情報発信手段として SNS の種類（インスタ、ラインなど）を増強。ラインからの OC の申し込みが増加 ②TVCM（ホーム TV）で 8 月頃まで放映。 また自動車整備業についての懇談に参加し、その内容をラジオ（広島 FM、中高生対象）で放送。
(3) オープンキャンパスの魅力向上 ①整備体験を取り入れたスペシャルオープンキャンパス（SOC）を 4 回実施予定 ②SOC では、就職先の企業と連携（展示車、業界の説明を依頼） ③オープンキャンパス（OC）を 10 回実施予定 ④SOC、OC での掲示パネル（実習風景、卒業生の写真）を作成・紹介 ⑤早期、入学者確保のため来場者（希望者）に、事前面談実施呼びかけ。（5 月～） （事前面談することで、面接試験を免除。入学試験の選考は書類のみ） ⑥来場者へ手書きメッセージ入りのお礼はがき郵送	〃	▪ オープンキャンパスは全て体験コース付き。 ▪ 説明会場に学生の実習風景や卒業生の写真等を展示し、来場者の興味を引いた。 ▪ SOC は 4 回実施、企業の協力を得て車両展示し、来場者にアピールした。 ▪ OC は 10 回開催 ▪ 来場した 3 年生は事前面談をほぼ受け、入学者確保に繋がった。
(4) 教職員による高校訪問 ①訪問校、時期、訪問時持参資料等を年度当初に検討し、計画立案の上、訪問実施 （県内年 4 回、県外年 2 回を目安。高校から要請があれば訪問し直接学校説明を実施） ②整備士希望の生徒がいれば、訪問し個別に直接説明することを HP 等で発信 ③国、企業と連携して、自動車整備業の魅力を紹介	〃	▪ 4 月末から 8 月頃までに約 50 校（含む重複）、翌 3 月に 9 校ほど訪問 ▪ 高校から直接の依頼はなかった。 ▪ 訪問高校のリストは国交省へ提案したが、コロナ禍のため訪問は実施しなかった。
(5) 出前授業等 自動車に対する興味や関心喚起のため積極的に出前授業へ参加し、実車、模型等を用い整備の重要性や本学の魅力を紹介 ▪ 企業と連携し、実務者から整備業を紹介 ▪ 県内ガイダンスへ可能な限り出席 ▪ 充実した施設・設備を重点的にアピール ▪ 要請あれば小中学校での職業紹介	〃	▪ ガイダンス紹介は 18 校ほど。 ▪ コロナで中止などがあり、12 校のガイダンスに参加し、直接生徒へ本校の魅力などをアピールできた。

(6) 入試関連 入試日程・種類、選考方法等を検証し、効果的な方法を検討	〃	My 入試（従来の AO）が 6 回、推薦入試が 8 回、一般入試 1 回設定。分散しているとの指摘あり、次年度は時期、回数などを検討する。
(7) 入試広報関連 ① 本学情報を業者（さんぽうなど）の Web ページや高校生配付資料へ掲載 ② 広報効果が期待できる媒体の活用（広島駅構内、地下） ③ 競合校にない特定整備が実施できるような設備の構築の検討推進	〃	- 紙媒体から Web 主体へと方針を変更 - イベントなど内容変更のたびにパネルを作成し、交換 - 特定整備工場の認証を取得し、振興会へ登録済

3 物的資源

実施目標・計画	実施予定年度	実績
〔建物設備の充実、改修、改善〕		
(1) 学内美化 学内整理・整頓の推進	継続	不要車両の廃却を促進
(2) 学内安全 学内設備の保守対応	〃	設備保守計画に則って実施

4 技術的資源をはじめとするその他の教育資源

実施目標・計画	実施予定年度	実績
〔装置・教材の充実〕 先進技術搭載車の整備（特定整備）ができる実習場の充実と授業への反映を検討	令和 3 年度～	自動運転技術のセンサー類校正などに必要な機材を購入。それらを活用し新技術を組み込んだ実習を実施

5 教養教育の取組み

実施目標・計画	実施予定年度	実績
英語、就職講座Ⅰ・Ⅱを選択科目として開講	継続	就職講座を開講、英語は開講せず

6 職業教育の取組み

実施目標・計画	実施予定年度	実績
「就職講座Ⅰ・Ⅱ」により効率の良い学生の就職指導を実施	継続	卒業生は全員、希望企業へ就職

7 地域貢献の取組み

実施目標・計画	実施予定年度	実績
(1) 地域参加型イベントの実施検討 ① 本校の理解を深めてもらうことを目的として開催を検討 ② 地域交流プロジェクト - ひろしま産業振興機構との協同でベンチマーキング活動を実施 - 学内施設の講習会（運行管理者、ドローン）等への活用による地域貢献と本学の知名度向上推進	継続	- コロナ禍のため、未実施 - 特に施設使用希望はなかった。

(2) 環境美化キャンペーンの実施 本校内および周辺美化活動の実施	〃	
--------------------------------------	---	--

8 自己点検評価報告書 & 相互評価

実施目標・計画	実施予定年度	実績
(1) 自己評価、学校関係者評価の体制を構築し、評価を実施する。	令和３年度～	専門学校の教育活動に準じた評価項目を洗い出した。
(2) 実施事業については随時点検し、見直しを図る。	〃	予算の計画的運用を継続

高校

1 授業運営

1-1 組織改編とコース設定

実施目標・計画	実施予定年度	実績
(1) 総合学科の募集停止と普通科の定員増 本高校を志望する中学生やその保護者のニーズに対応するため、総合学科を募集停止（入学定員▲120名）し、普通科を充実（入学定員120名増）させる。	令2年度～	2020年度に開設された総合進学コースは、総合学科・普通科Ⅱ型の特徴を融合させた教育展開を目標としている。開設2年目を迎えたが、まだ手探りの状況が続いている。
(2) 新たに5コース・5系を設定 普通科の入学定員増によりコースを充実させ、「難関コース」、「特進コース」、「国際教養コース」、「選抜進学コース」、「総合進学コース」の5コースを、「総合進学コース」に「法・人文系」、「語学・保育・家政系」、「医療・理工系」、「商業・経済系」、「情報系」の5系を設定	令2年度～	- コースの特徴的学習ということもあり、可否問わず1年間一貫した学習目標として取り組めた。 - 放課後補習や課題の提出を通して、各生徒の実力向上を目指す活動を担当教員の尽力で進めることが出来た。 - 商学・経済系の2年生で1級を取得した者もあり、着実に成果を表している。 - 語学・保育・家政は系の特性上、男女比の偏りが生じた。しかし、法・人文とハウス制をとることによって多少男女比の偏りは解消した。ただし、次年度も列選択においては注意を払うことが課題と思われる。
(3) 通信課程の設置 近年、不登校の生徒が年々増加傾向にあり、これまでは他校への転学を勧めてきたが、生徒やその保護者は本校での卒業を強く希望している。この状況を鑑み、建学の精神「教育は愛なり」のもと、本校で高等教育の過程を修了させることを検討し、通信制課程を設置することとした。	令3年度～	現在は全日制からの転籍のみの生徒を受け入れている。令和3年度は10名在籍。そのうち3名が卒業し、2名が大学へ進学した。

1-2 アンケート調査の活用

実施目標・計画	実施予定年度	実績				
(1) 保護者及び教員対象アンケート ①学校評価の一環として、直接保護者へのアンケートを行い、学校改善を図る。 ②同様のアンケート調査を教員に実施し、保護者アンケート結果と照合することにより、今後取り組むべき課題や問題点を明らかにする。 ③研修会等を通じてアンケート結果並びに問題点は全教職員により共有	平 26 年度～	▪ アンケート全体の結果を見ると、各項目とも昨年度と大きな変化が見られていないが、学年間、クラス間、コース間において格差がみられる。ほとんどの生徒が落ち着いた学校生活を過ごしていると回答している。 ▪ 一方で、肯定的な割合が低い項目は学習項目であり、学習意欲の喚起と進学意識の向上の機会を設けるなど改善が必要である。				
(2) 生徒による学校・学級生活満足度アンケートの実施 ①前記(1)のアンケート結果と合わせて、本高校教員の生徒理解・把握力の向上による学級経営力の向上及び生徒の学力向上を図る。 ②授業アンケートを実施し、授業技術の向上に努める。	平 23 年度～	▪ 本校独自の取り組み、また、高大接続改革を踏まえカリキュラムの見直しや授業の改善等にも取り組み、学校の活性化を図っていきたい。 ▪ 保護者から頂いた意見のほとんどは、担任との信頼関係の薄さに由来するものであり、真摯に受けとめ検討していく必要がある。				
<table><tr><td>1 学期末</td><td>1・2 学年対象に調査を実施</td></tr><tr><td>2 学期末</td><td>1 学年には 2 度目の調査を行い クラス編成の参考資料とする。 全学年に授業アンケートを実施</td></tr></table>	1 学期末	1・2 学年対象に調査を実施	2 学期末	1 学年には 2 度目の調査を行い クラス編成の参考資料とする。 全学年に授業アンケートを実施		
1 学期末	1・2 学年対象に調査を実施					
2 学期末	1 学年には 2 度目の調査を行い クラス編成の参考資料とする。 全学年に授業アンケートを実施					

2 生徒指導

2-1 いじめに関する調査

実施目標・計画	実施予定年度	実績
(1) 本校では、いじめ・体罰・ハラスメントの撲滅を目指し、教職員、生徒、保護者とともにこれらを未然に防止するため、啓発活動やアンケート調査を実施	平 25 年度～	「いじめのアンケート」を実施 ▪ 1 回目… 6 月に実施 ▪ 2 回目… 11 月に実施 ▪ 3 回目… 2 月に実施 ▪ 悪ふざけなど、いついじめに発展するかわからない場合がある。早期発見・対応する必要がある。
(2) アンケート調査は各学期に実施し、調査結果を生徒及び保護者へ通知	〃	
(3) 全教職員による研修で情報を共有し、より良い学習環境及び学校生活環境作りを目指す。	〃	

2-2 携帯電話に関する調査

実施目標・計画	実施予定年度	実績										
(1) 携帯電話等に関するアンケート調査を 1 年に 1 回実施	平 25 年度～	▪ 携帯電話の使用状況アンケートを 6 月に実施をした。学年を問わず時間が長くなり、依存が高い傾向がある。										
(2) 調査結果は生徒及び保護者へ報告	//											
(3) 全教職員による研修で情報を共有し、より良い学習環境作りを目指す。 ①本校では生徒の安全、いじめ防止及び学力向上の観点から、携帯電話等の校内持込を原則禁止としている。 ②平成 25 年 10 月からの調査 ▪ ほとんどの生徒が携帯電話等を所有 ▪ そのほとんどが Line や Twitter などの SNS(ソーシャルネットワーキングサービス)を利用	//	▪ 79 台の没収があり、そのうち 8 名が 2 回目の没収で問題行動として特別指導を行っている。 ▪ 今年度、携帯申請を出した生徒は 146 名 ▪ 没収台数は、昨年度 37 台にくら大幅に増加している。 ▪ 授業中に使用をしている生徒も増えている。 ▪ SNS に不適切な画像などを載せている生徒がいる。 〔携帯電話没収台数〕 <table><tr><td>区分</td><td>1 年生</td><td>2 年生</td><td>3 年生</td><td>合計</td></tr><tr><td>没収台数</td><td>33 台</td><td>32 台</td><td>14 台</td><td>79 台</td></tr></table>	区分	1 年生	2 年生	3 年生	合計	没収台数	33 台	32 台	14 台	79 台
区分	1 年生	2 年生	3 年生	合計								
没収台数	33 台	32 台	14 台	79 台								

3 情操教育指導

実施目標・計画	実施予定年度	実績
(1) クリーンキャンペーン ①毎週 1 学級全員による地域清掃活動（クリーンキャンペーン）を 1 年間通して実施 ②月 1 回の生徒保健委員会による地域清掃活動を実施	平 19 年度～	新型コロナウイルス感染症対策のため全清掃活動を中止
(2) グリーンキャンペーン ①各クラスによる植栽プランターの設置（グリーンキャンペーン）を実施 ②平成 31 年度からは対象範囲を校外へ拡げて活動	平 22 年度～	新型コロナウイルス感染症対策のため活動を中止

4 国際教育交流の充実

実施目標・計画	実施予定年度	実績																
(1) 海外研修 ①平成 31 年度は夏期アイルランド語学研修を実施 ②令和 3 年度はコロナにより夏期アイルランド語学研修実施を見送る。 ③語学研修の感想文を冊子にまとめ、本高校を受験する中学校へ配付し、入試広報活動の一助とする。	平 23 年度～ 令 3 年度	オンライン国際交流プログラム ▪ 参加者 24 名 (中学 3 年 1 名、高校 1,2,3 年 23 名) ▪ プログラム内容 各グループに分かれプレゼン作成、発表、プレゼンに関する質疑応答を英語で行う。 〔事前学習〕 <table><tr><td>5 月 7 日</td><td>オリエンテーション、交流相手紹介、VR の使い方</td></tr><tr><td>6 月 7 日</td><td>プレゼンの仕方、コミュニケーション基礎カワークショップ</td></tr><tr><td>6 月 18 日</td><td>プレゼン作成、修正、進捗状況確認</td></tr><tr><td>7 月 20 日</td><td>プレゼン練習、最終確認</td></tr></table> 〔プログラム〕 <table><tr><td>7 月 27 日</td><td>VR 英会話</td></tr><tr><td>7 月 28 日</td><td>カリフォルニア大学キャンパスツアー、大学生と交流</td></tr><tr><td>7 月 29 日</td><td>プレゼン制作、大学生と交流、プレゼンリハーサル</td></tr><tr><td>7 月 30 日</td><td>プレゼン発表本番、アメリカの高校生と交流</td></tr></table>	5 月 7 日	オリエンテーション、交流相手紹介、VR の使い方	6 月 7 日	プレゼンの仕方、コミュニケーション基礎カワークショップ	6 月 18 日	プレゼン作成、修正、進捗状況確認	7 月 20 日	プレゼン練習、最終確認	7 月 27 日	VR 英会話	7 月 28 日	カリフォルニア大学キャンパスツアー、大学生と交流	7 月 29 日	プレゼン制作、大学生と交流、プレゼンリハーサル	7 月 30 日	プレゼン発表本番、アメリカの高校生と交流
5 月 7 日	オリエンテーション、交流相手紹介、VR の使い方																	
6 月 7 日	プレゼンの仕方、コミュニケーション基礎カワークショップ																	
6 月 18 日	プレゼン作成、修正、進捗状況確認																	
7 月 20 日	プレゼン練習、最終確認																	
7 月 27 日	VR 英会話																	
7 月 28 日	カリフォルニア大学キャンパスツアー、大学生と交流																	
7 月 29 日	プレゼン制作、大学生と交流、プレゼンリハーサル																	
7 月 30 日	プレゼン発表本番、アメリカの高校生と交流																	
(2) 長期留学生の受入れ	平 25 年度～	G1-6 ●●・●●●●●●さん ▪ 登校期間： 2021 年 11 月～2022 年 3 月 ※本来 8 月来日予定だったが、コロナウィルス感染拡大に伴い、11 月に来日 ▪ 日本語教育／毎週水曜日 2 時間実施 ▪ 日本語学習計画：日本語能力検定 4 級を目標とする。 学習 <table><tr><td>2021 年 11 月</td><td>初級文法、動詞（現在・過去）、漢字、語彙</td></tr><tr><td>2021 年 12 月</td><td>初級文法、形容詞、動詞、漢字、語彙</td></tr><tr><td>2022 年 1 月</td><td>初級文法、漢字、語彙</td></tr><tr><td>2022 年 2 月</td><td>初級文法、二項比較、～たい、～たり、～たりする、漢字</td></tr><tr><td>2022 年 3 月</td><td>初級文法、～んです、～すぎる、漢字、語彙</td></tr></table> ▪ 2 月 14 日 私立小学校訪問、小学生と交流、文化紹介など。 ▪ クラブ 家庭科部、茶・華道部体験 ▪ ホストファミリー ▪ 2021 年 11 月～2 月 24 日まで外部の方(瀬野) ▪ 2022 年 2 月 25 日～3 月 13 日まで別の外部の方(広島市内)	2021 年 11 月	初級文法、動詞（現在・過去）、漢字、語彙	2021 年 12 月	初級文法、形容詞、動詞、漢字、語彙	2022 年 1 月	初級文法、漢字、語彙	2022 年 2 月	初級文法、二項比較、～たい、～たり、～たりする、漢字	2022 年 3 月	初級文法、～んです、～すぎる、漢字、語彙						
2021 年 11 月	初級文法、動詞（現在・過去）、漢字、語彙																	
2021 年 12 月	初級文法、形容詞、動詞、漢字、語彙																	
2022 年 1 月	初級文法、漢字、語彙																	
2022 年 2 月	初級文法、二項比較、～たい、～たり、～たりする、漢字																	
2022 年 3 月	初級文法、～んです、～すぎる、漢字、語彙																	

(3) 海外研修時のホスト等への謝礼 ①本校入試広報部と連携し、本校の行事等を英語と日本語で説明したカレンダーを作成し、本校の生徒がホストとして受入れる家庭へのお土産とする。	平 27 年度～	新型コロナウイルス感染症対策のため語学研修を中止
(4) 国際交流委員 ①国際交流委員は本高校生徒の 1・2 学年の各クラスから 2 名選出により構成 ②国際交流委員会便り「国際学院 EXCHANGE」を定期的に発行	平 25 年度～	国際交流委員を中心にオンライン英会話を受講し、英語力向上に努めた。

5 特別教育・教務システム

5-1 新入生特別活動の実施

実施目標・計画	実施予定年度	実績
〔新入生集団宿泊（江田島青少年交流の家）研修を実施〕 新入生には本校生徒としての心構えを認識・確認させるとともに、カッター訓練等の経験を通して集団の中の個の役割や対人関係能力の育成を図る。	継続	新型コロナウイルス感染症対策のため新入生集団宿泊研修を中止

5-2 学校運営システムの運用

実施目標・計画	実施予定年度	実績
(1) 学校運営システム ▪ より一層の有用活用を目指して改良を加えながら運用	平 18 年度～	適正かつ効率的に稼働している。
(2) 入試管理システム ▪ 平成 25 年度より構築してきた入試管理システムを教務システム（学籍管理、出欠管理、成績管理等）と連動させ、より一層、事務処理機能の効率化を図る。	平 25 年度～	入試システムと教務システムの連動により事務処理が、一層効率よく迅速に処理されている。

6 生徒募集活動

実施目標・計画	実施予定年度	実績																						
(1) 令和3年度に実施した次の募集活動について、引き続き取り組む。 ①配付用パンフレット・チラシ・ポスター等作成 ▪ 国際交流課と連携し、本校及び系列中学の行事等を日本語と英語で説明したカレンダーを作成する。 ②中学校訪問（4～6回） ③各中学校入試説明会（15回程度） ④呉地区中学校合同説明会 ⑤東広島地区合同説明会 ⑥各塾での出前公開授業・説明会 ⑦小学生・中学生保護者対象入試説明会 ⑧私塾対象入試説明会 ⑨オープンスクール：中学生・小学生対象 ⑩私学フェスタ ⑪「国際模試」実施 ⑫保護者対象学校見学会 ⑬保護者対象イブニング説明会	平 25 年度～	▪ 会議【高校】 学校案内作成、オープンスクール準備などの高校入試広報業務における打ち合わせや協議を行う。募集担当者会議は中学校募集担当者に対し業務を円滑に遂行していただくよう打ち合わせ会議を行う。 <table><tr><td>4 月 5 日</td><td>第 1 回入試広報課会議</td></tr><tr><td>4 月 19 日</td><td>第 1 回募集担当者会議</td></tr><tr><td>5 月 10 日</td><td>第 1 回高校OS担当者会議</td></tr><tr><td>5 月 28 日</td><td>第 2 回高校OS担当者会議</td></tr><tr><td>6 月 28 日</td><td>第 2 回募集担当者会議</td></tr><tr><td>6 月 28 日</td><td>第 2 回入試広報課会議</td></tr><tr><td>8 月 6 日</td><td>第 3 回入試広報課会議</td></tr><tr><td>8 月 30 日</td><td>第 3 回募集担当者会議</td></tr><tr><td>9 月 2 日</td><td>第 4 回入試広報課会議</td></tr><tr><td>11 月 6 日</td><td>第 4 回募集担当者会議</td></tr><tr><td>11 月 6 日</td><td>第 5 回入試広報課会議</td></tr></table>	4 月 5 日	第 1 回入試広報課会議	4 月 19 日	第 1 回募集担当者会議	5 月 10 日	第 1 回高校OS担当者会議	5 月 28 日	第 2 回高校OS担当者会議	6 月 28 日	第 2 回募集担当者会議	6 月 28 日	第 2 回入試広報課会議	8 月 6 日	第 3 回入試広報課会議	8 月 30 日	第 3 回募集担当者会議	9 月 2 日	第 4 回入試広報課会議	11 月 6 日	第 4 回募集担当者会議	11 月 6 日	第 5 回入試広報課会議
4 月 5 日	第 1 回入試広報課会議																							
4 月 19 日	第 1 回募集担当者会議																							
5 月 10 日	第 1 回高校OS担当者会議																							
5 月 28 日	第 2 回高校OS担当者会議																							
6 月 28 日	第 2 回募集担当者会議																							
6 月 28 日	第 2 回入試広報課会議																							
8 月 6 日	第 3 回入試広報課会議																							
8 月 30 日	第 3 回募集担当者会議																							
9 月 2 日	第 4 回入試広報課会議																							
11 月 6 日	第 4 回募集担当者会議																							
11 月 6 日	第 5 回入試広報課会議																							

	▪ 中学校訪問は 84 校【高校】 第 1 回と第 2 回は 8 月以降行われる入試イベントの参加者数を増やすための訪問。第 3 回以降は、入学試験における注意事項の連絡や、円滑に出願まで案内できるよう、密に連携をとる。 <table><tr><th>区分</th><th>日程</th><th>目的</th></tr><tr><td>第 1 回</td><td>5 月 12 日 ゝ 5 月 26 日</td><td>新年度挨拶等</td></tr><tr><td>第 2 回</td><td>7 月 5 日 ゝ 7 月 16 日</td><td>オープンスクールと保護者対象入試説明会のチラシ配布と参加のお願い、学校案内(パンフレット)配布のお願い。</td></tr><tr><td>第 3 回</td><td>9 月 1 日 ゝ 9 月 16 日</td><td>専願ラインと締切等</td></tr><tr><td>第 4 回</td><td>11 月 8 日 ゝ</td><td>オープンスクールの御礼、専願用紙一式配布等</td></tr><tr><td>第 5 回</td><td>ゝ 12 月 24 日</td><td>専願用紙一式回収</td></tr></table> ▪ 中学校主催説明会 訪問 26 校 合同 1 回 本校の P R を直接できる貴重な機会であるため、1 校でも多く参加できるよう募集担当者を中心に参加意志を表明する。 <table><tr><td>5 月 14 日</td><td>八本松中学校</td></tr><tr><td>5 月 21 日</td><td>西条中学校</td></tr><tr><td>6 月 4 日</td><td>高屋中学校</td></tr><tr><td>6 月 9 日</td><td>向陽中学校</td></tr><tr><td>6 月 9 日</td><td>磯松中学校</td></tr><tr><td>6 月 16 日</td><td>祇園中学校 2 年</td></tr><tr><td>6 月 16 日</td><td>船越中学校</td></tr><tr><td>6 月 16 日</td><td>中央中学校</td></tr><tr><td>6 月 22 日</td><td>志和中学校</td></tr><tr><td>6 月 30 日</td><td>高美が丘中学校</td></tr><tr><td>6 月 30 日</td><td>坂中学校</td></tr><tr><td>7 月 1 日</td><td>熊野中学校</td></tr><tr><td>7 月 1 日</td><td>府中緑ヶ丘中学校</td></tr><tr><td>7 月 8 日</td><td>中広中学校</td></tr><tr><td>7 月 21 日</td><td>海田中学校</td></tr><tr><td>7 月 21 日</td><td>二葉中学校</td></tr><tr><td>8 月 27 日</td><td>両城中学校</td></tr><tr><td>8 月 31 日</td><td>河内中学校</td></tr><tr><td>9 月 7 日</td><td>楠那中学校</td></tr><tr><td>9 月 10 日</td><td>白木中学校</td></tr><tr><td>9 月 27 日</td><td>昭和北中学校</td></tr><tr><td>9 月 28 日</td><td>東広島合同入試説明会</td></tr><tr><td>9 月 28 日</td><td>吉浦中学校</td></tr><tr><td>9 月 29 日</td><td>広中央中学校</td></tr><tr><td>9 月 30 日</td><td>熊野東中学校</td></tr><tr><td>1 月 21 日</td><td>宇品中学校 2 年</td></tr><tr><td>1 月 28 日</td><td>福木中学校 2 年</td></tr></table>	区分	日程	目的	第 1 回	5 月 12 日 ゝ 5 月 26 日	新年度挨拶等	第 2 回	7 月 5 日 ゝ 7 月 16 日	オープンスクールと保護者対象入試説明会のチラシ配布と参加のお願い、学校案内(パンフレット)配布のお願い。	第 3 回	9 月 1 日 ゝ 9 月 16 日	専願ラインと締切等	第 4 回	11 月 8 日 ゝ	オープンスクールの御礼、専願用紙一式配布等	第 5 回	ゝ 12 月 24 日	専願用紙一式回収	5 月 14 日	八本松中学校	5 月 21 日	西条中学校	6 月 4 日	高屋中学校	6 月 9 日	向陽中学校	6 月 9 日	磯松中学校	6 月 16 日	祇園中学校 2 年	6 月 16 日	船越中学校	6 月 16 日	中央中学校	6 月 22 日	志和中学校	6 月 30 日	高美が丘中学校	6 月 30 日	坂中学校	7 月 1 日	熊野中学校	7 月 1 日	府中緑ヶ丘中学校	7 月 8 日	中広中学校	7 月 21 日	海田中学校	7 月 21 日	二葉中学校	8 月 27 日	両城中学校	8 月 31 日	河内中学校	9 月 7 日	楠那中学校	9 月 10 日	白木中学校	9 月 27 日	昭和北中学校	9 月 28 日	東広島合同入試説明会	9 月 28 日	吉浦中学校	9 月 29 日	広中央中学校	9 月 30 日	熊野東中学校	1 月 21 日	宇品中学校 2 年	1 月 28 日	福木中学校 2 年
区分	日程	目的																																																																							
第 1 回	5 月 12 日 ゝ 5 月 26 日	新年度挨拶等																																																																							
第 2 回	7 月 5 日 ゝ 7 月 16 日	オープンスクールと保護者対象入試説明会のチラシ配布と参加のお願い、学校案内(パンフレット)配布のお願い。																																																																							
第 3 回	9 月 1 日 ゝ 9 月 16 日	専願ラインと締切等																																																																							
第 4 回	11 月 8 日 ゝ	オープンスクールの御礼、専願用紙一式配布等																																																																							
第 5 回	ゝ 12 月 24 日	専願用紙一式回収																																																																							
5 月 14 日	八本松中学校																																																																								
5 月 21 日	西条中学校																																																																								
6 月 4 日	高屋中学校																																																																								
6 月 9 日	向陽中学校																																																																								
6 月 9 日	磯松中学校																																																																								
6 月 16 日	祇園中学校 2 年																																																																								
6 月 16 日	船越中学校																																																																								
6 月 16 日	中央中学校																																																																								
6 月 22 日	志和中学校																																																																								
6 月 30 日	高美が丘中学校																																																																								
6 月 30 日	坂中学校																																																																								
7 月 1 日	熊野中学校																																																																								
7 月 1 日	府中緑ヶ丘中学校																																																																								
7 月 8 日	中広中学校																																																																								
7 月 21 日	海田中学校																																																																								
7 月 21 日	二葉中学校																																																																								
8 月 27 日	両城中学校																																																																								
8 月 31 日	河内中学校																																																																								
9 月 7 日	楠那中学校																																																																								
9 月 10 日	白木中学校																																																																								
9 月 27 日	昭和北中学校																																																																								
9 月 28 日	東広島合同入試説明会																																																																								
9 月 28 日	吉浦中学校																																																																								
9 月 29 日	広中央中学校																																																																								
9 月 30 日	熊野東中学校																																																																								
1 月 21 日	宇品中学校 2 年																																																																								
1 月 28 日	福木中学校 2 年																																																																								

		▪ 各種説明会【中学・高校】		
		8月30日 修ゼミ出張授業【高】		
		9月 5日 明光義塾オンライン説明会【中高】		
		10月31日 田中学習会模試《会場提供》		
		11月 7日 呉こどもフェスタ 2021【中高】		
		▪ オープンデイ〔本校主催〕【中学】		
		本校を受験したい、受験させたいと小学生や保護者に思ってもらえるように、学校の雰囲気伝わるイベントを開催する。		
		▪ 夏の OPEN DAY		
		7月18日(日) 参加人数:153組 378名 (昨年度:145組 346名)		
		▪ 秋の OPEN DAY		
9月26日(日) 参加人数:175組 426名 (昨年度:108組 242名)				
▪ 冬の OPEN DAY				
12月13日(日) 参加人数:126組 315名 (昨年度:56組 129名)				
▪ 春の OPEN DAY				
3月13日(日) 参加人数:172組 390名 (昨年度:141組 333名)				
▪ 小学生国際模試〔本校主催〕【中学】				
▶ 実施日:7月11日(日)				
▶ 参加人数:200名(昨年度 219名)				
▶ 保護者対象教育セミナー参加者数:183名 (昨年度 210名)				
▪ 保護者対象入試説明会〔本校主催〕【高校】				
保護者に対して早い段階からPRを行う。				
▶ 実施日:8月7日(土)				
▶ 参加人数:195名(昨年度 283名)				
▪ 部活体験会〔本校主催〕《初実施》【高校】				
部活動を通じて志望校を考えている中学生の関心を集める。				
▶ 実施日:7月30日(金)～11月14日(日) 全13クラブ18回				
▶ 参加人数:167名				
▪ 塾対象入試説明会〔本校主催〕【中高】				
高校専願基準点など詳細情報を広く確実に行う。				
▶ 実施日:9月16日(木)				
▶ 参加人数:58名(昨年度 55名)・各塾・塾グループ毎で情報共有をしているため大幅な増加は難しいが、参加を働きかけていきたい。				
▪ オープンスクール〔本校主催〕【高校】				
本校を受験したい、受験させたいと中学生や保護者に思ってもらえるように、学校の雰囲気が伝わるオープンスクールを開催する。				
▶ 実施日:9月19日(日)・20日(月・祝)				
▶ 申込人数 2,111名(昨年度 2,458名)				
▶ 参加人数 1,959名(昨年度 2,320名)				
				</

		▪ 国際模試〔本校主催〕【高校】 オープンスクールには参加しない層の中学生に対し興味関心をもってもらう。 ▶ 実施日:10月3日(日) ▶ 申込人数:756名(昨年度:711名) ▶ 参加人数:650名(昨年度:656名) ▶ 来年度は1000名近い参加になるよう塾等に積極的に案内していきたい。 ▪ 保護者対象学校見学会〔本校主催〕【高校】 保護者に対して直接PRを行う。 ▶ 実施日:9月18日(金)～毎週金曜日(全9回) ▶ 参加人数:45名(昨年度:98名/10回) ▪ 入試説明会&難関コース体験授業〔本校主催〕【高校】 受験校最終決定の時期に説明会を行うことによって、1人でも多くの受験者を獲得する。 ▶ 実施日:10月24日(日) 〔入試説明会〕 ▶ 参加人数:118組203名(昨年度:184組319名) 〔難関コース体験授業〕 ▶ 参加人数:22組44名(昨年度40組66名) ▪ 保護者対象イブニング説明会〔本校主催〕【高校】 保護者に対して直接PRを行う。 ▶ 実施日:9月30日(木)～毎週木曜日(全10回) ▶ 参加人数:87名(昨年度:71名/10回) ▪ 夜の難関コース体験授業〔本校主催〕《初実施》【高校】 難関コースの認知度・人気度の向上を図る。 ▶ 実施日:第1回10月7日(木) 第2回10月21日(木) ▶ 参加人数:17組37名 ▶ このイベントがきっかけとなって本校が第1志望になった中学生がいた。改良して参加者を増やしていきたい。 ▪ 入試説明会〔本校主催〕【中学校】 最終決定の時期に説明会を行うことによって、1人でも多くの受験者を獲得する。 ▶ 実施日:11月23日(火・祝) ▶ 参加人数:134組278名(昨年度:126組252人) ▪ 保護者対象学校見学会〔本校主催〕【中学】 保護者に対して直接PRを行う。 ▶ 実施日:6月23日(水)～不定期(全17回) ▶ 参加人数:108人(昨年度202名/24回) ▪ 中学受験サロン〔本校主催〕【中学】 中学受験に対して関心のある保護者に対して、現在の中学受験の正しい情報を提供することにより、本校受験のきっかけを作る。 ▶ 実施日:4月18日(日)～不定期(全8回) ▶ 参加人数:353名(昨年度67名/3回)
--	--	---

		▪ 令和4年度入学試験【高校】 <table><tr><td rowspan="2">会 議</td><td>1月12日</td><td>専願会議</td></tr><tr><td>1月26日</td><td>推薦入試会議</td></tr></table> ▪ 推薦入試+33名一般入試+42名の手続きとなった。推薦入試の志願者は安定して増えている。一般入試は、選抜Ⅱの志願者数も減少したため、手続き者数は期待していなかったが、公立高校に合格しても本校を選ぶ中学生が増加しているため、手続き者増に繋がった。 <table><tr><td>2月 4日</td><td>推薦入試合否会議</td></tr><tr><td>2月 9日</td><td>非常勤講師・補助生徒会議</td></tr><tr><td>2月12日</td><td>一般入試会議</td></tr><tr><td>2月19日</td><td>一般入試合否会議</td></tr></table> 〔入学試験〕 <table><tr><th>区分</th><th>実施日</th><th>志願者数</th><th>受験者数</th><th>合格者数</th><th>手続き者数</th></tr><tr><td>推薦入試</td><td>2月3日</td><td>321人</td><td>321人</td><td>321人</td><td>321人</td></tr><tr><td>一般入試</td><td>2月18・19日</td><td>990人</td><td>901人</td><td>897人</td><td>164人</td></tr></table> ▪ 令和4年度入学試験【中学】 <table><tr><td>会議</td><td>1月6日</td><td>入試会議（Ⅰ・Ⅱ共通）</td></tr></table> 〔入学試験〕 <table><tr><th>区分</th><th>実施日</th><th>志願者数</th><th>受験者数</th><th>合格者数</th><th>手続き者数</th></tr><tr><td>入試Ⅰ</td><td>1月8日</td><td>200名</td><td>193名</td><td>129名</td><td>※35名</td></tr><tr><td>入試Ⅱ</td><td>1月11日</td><td>174名</td><td>148名</td><td>78名</td><td>15名</td></tr></table> ※手続き〆切後1名辞退	会 議	1月12日	専願会議	1月26日	推薦入試会議	2月 4日	推薦入試合否会議	2月 9日	非常勤講師・補助生徒会議	2月12日	一般入試会議	2月19日	一般入試合否会議	区分	実施日	志願者数	受験者数	合格者数	手続き者数	推薦入試	2月3日	321人	321人	321人	321人	一般入試	2月18・19日	990人	901人	897人	164人	会議	1月6日	入試会議（Ⅰ・Ⅱ共通）	区分	実施日	志願者数	受験者数	合格者数	手続き者数	入試Ⅰ	1月8日	200名	193名	129名	※35名	入試Ⅱ	1月11日	174名	148名	78名	15名
会 議	1月12日	専願会議																																																				
	1月26日	推薦入試会議																																																				
2月 4日	推薦入試合否会議																																																					
2月 9日	非常勤講師・補助生徒会議																																																					
2月12日	一般入試会議																																																					
2月19日	一般入試合否会議																																																					
区分	実施日	志願者数	受験者数	合格者数	手続き者数																																																	
推薦入試	2月3日	321人	321人	321人	321人																																																	
一般入試	2月18・19日	990人	901人	897人	164人																																																	
会議	1月6日	入試会議（Ⅰ・Ⅱ共通）																																																				
区分	実施日	志願者数	受験者数	合格者数	手続き者数																																																	
入試Ⅰ	1月8日	200名	193名	129名	※35名																																																	
入試Ⅱ	1月11日	174名	148名	78名	15名																																																	
(2) 地道なPR活動を通して入学者増に繋げる。	//																																																					

7 学校評価

実施目標・計画	実施予定年度	実績
〔学校評価（主に自己評価・学校関係評価）の実施〕 年度の各学期末に実施し、教育活動や組織運営の反省と課題を明確にしより円滑で発展性のある学校づくりに努める。	継続	評価会議を実施

8 学校行事の充実

実施目標・計画	実施予定年度	実績	
(1) 〔系列専門学校教員が本校の行事へ参加〕 本校の行事（オープンスクール・文化祭）で車の展示を予定	平 25 年度～		
(2) その他の行事	継続	▪ 体育祭 コロナ対策として、 ①保護者・一般客を入場させない ②競技を団体競技に絞って実施	
		13 時	体育祭終了
		13 時 15 分	インターハイ壮行式
		14 時	解散

		▪ 文化祭 ▶ 1・2年全クラスとクラブ(希望するクラブ)教室展示を実施 ▶ 1年の合唱コンクールと2年・クラブなどのバザーは中止 ▶ 校内の密をさけるために生徒半分は、11月20日、21日のどちらかに登校。 ▶ 保護者は、生徒1名に付き1枚の入場許可証を配布 ▪ コロナの影響で中止または、延期になった行事 ▶ 芸術鑑賞会：7月16日(金)→次年度7月13日(水)に延期 ▶ 2年修学旅行10月から3月に延期するも3月も中止となる。10月実施予定の修学旅行を3月に延期したがコロナの影響により中止 ▶ マラソン大会はコロナの影響により中止
--	--	--

9 地域貢献

実施目標・計画	実施予定年度	実績
(1) 海田町の小学校や自治会への会場の提供 ▪ 小学生低学年が芝生を利用したのボール遊び、自治会の集会や講演会の会場としての提供	平 31 年度～	自治会の研修会に会議室を提供
(2) 災害時の指定緊急避難場所 ▪ 海田町の指定緊急避難場所として指定	平 27 年度～	南海トラフ地震に備えた緊急避難場所に指定されていたが、災害区分を広げた緊急避難場所に指定

10 施設設備の充実

実施目標・計画	実施予定年度	実績
楽器のリニューアル ▪ 式典やオープンスクール等の行事で使用している楽器が老朽化し故障等が多くなっているため、全ての楽器を令和3～5年度にかけてリニューアル(購入)	令和3年度～	令和3年度購入済み。引き続き令和4年度も購入予定

余 白

中学校

1 授業運営

1-1 アンケート調査の活用

実施目標・計画	実施予定年度	実績				
(1) 保護者及び教員対象アンケート ①学校評価の一環として、直接保護者へアンケートを行い、学校運営の改善を図る。 ②同様のアンケート調査を教員に実施し、保護者アンケート結果と照合することにより、今後取り組むべき課題や問題点を明らかにする。 ③アンケートの結果は問題点と合わせて研修会等を通して全教職員に周知させ共有化を図る。	平 31 年度～	高校「1 授業運営 1-2 アンケート調査の活用」参照				
(2) 生徒による学校・学級生活満足度アンケートの実施 前記(1)のアンケート結果を含めて、本校教員の生徒理解・把握力の向上による学級経営力の向上及び生徒の学力向上を図る。 <table border="1"><tr><td>1 学期末</td><td>1 学年対象に調査を実施 (来年度以降は、1・2 学年対象に調査を実施)</td></tr><tr><td>2 学期末</td><td>1 学年には2度目の調査を行う。 全学年に授業アンケートを実施</td></tr></table>	1 学期末	1 学年対象に調査を実施 (来年度以降は、1・2 学年対象に調査を実施)	2 学期末	1 学年には2度目の調査を行う。 全学年に授業アンケートを実施	〃	
1 学期末	1 学年対象に調査を実施 (来年度以降は、1・2 学年対象に調査を実施)					
2 学期末	1 学年には2度目の調査を行う。 全学年に授業アンケートを実施					

2 生徒指導

2-1 いじめに関する調査

実施目標・計画	実施予定年度	実績
(1) 本校では、いじめ・体罰・ハラスメントの撲滅を目指し、教職員、生徒、保護者とともにこれらを未然に防止するため、啓発活動やアンケート調査を実施	平 31 年度～	高校「2 生徒指導 2-1 いじめに関する調査」参照
(2) アンケート調査は各学期に実施し、調査結果を生徒及び保護者へ通知	〃	
(3) 全教職員による研修で情報を共有し、より良い学習環境及び学校生活環境作りを目指す。	〃	

2-2 携帯電話に関する調査

実施目標・計画	実施予定年度	実績
(1) 携帯電話等に関するアンケート調査を 1 年に 1 回実施	平 3 1 年度～	高校「2 生徒指導 2-2 携帯電話に関する調査」参照
(2) 調査結果は生徒及び保護者へ報告	〃	
(3) 全教職員による研修で情報を共有し、より良い学習環境作りを目指す。	〃	

3 情操教育

実施目標・計画	実施予定年度	実績
(1) クリーンキャンペーン ①毎週1学級全員による地域清掃活動（クリーンキャンペーン）を1年間通して実施 ②月1回の生徒保健委員会による地域清掃活動を実施	平31年度～	高校「3 情操教育指導（1）」参照
(2) グリーンキャンペーン ①各クラスによる植栽プランターの設置（グリーンキャンペーン）を実施	〃	高校「3 情操教育指導（2）」参照

4 特別教育（百錬錬磨）

実施目標・計画	実施予定年度	実績																																														
〔本校の特色である実学教育の実施〕 次の5テーマを土曜日に行い、それぞれの体験を通して協働する力、コミュニケーション能力、思考力、発信力を身に付けるとともに、研究的視点、経営的視点をもって問題をとらえる力を育成します。 ①アカデミック体験 ②日本文化体験 ③グローバル体験 ④アウトドア体験 ⑤ボランティア体験	平 31 年度～	■ 総合学習 百錬錬磨 〔1学期〕 <table><tr><td>4 月 9 日(金)</td><td>学校探検ツアー準備（中2）</td></tr><tr><td>4 月 10 日(土)</td><td>学校探検ツアー（中1・中2）</td></tr><tr><td>4 月 17 日(土)</td><td>泥リンピック事前準備(中1・中2)</td></tr><tr><td>4 月 17 日(土)</td><td>瀬野川クリーン大作戦準備(中3)</td></tr><tr><td>5 月 1 日(土)</td><td>田植え事前学習（中1・中2）</td></tr><tr><td>5 月 1 日(土)</td><td>関西研修事前学習（中3）</td></tr><tr><td>5 月 15 日(土)</td><td>関西圏事前学習（中3）</td></tr><tr><td>5 月 21 日(金)</td><td>泥リンピック（中1・中2）</td></tr><tr><td>5 月 22 日(土)</td><td>泥リンピック振り返り(中1・中2)</td></tr><tr><td>5 月 22 日(土)</td><td>関西研修事前学習（中3）</td></tr><tr><td>5 月 29 日(土)</td><td>書写（中1） サマーキャンプ事前学習(中2) 瀬野川クリーン大作戦(中3)</td></tr><tr><td>6 月 5 日(土)</td><td>海田町マップ作り（中1） サマーキャンプ事前学習(中2・中3)</td></tr><tr><td>6 月 12 日(土)</td><td>座禅・探究学習（中1・中2） 探究学習（中3）</td></tr><tr><td>6 月 19 日(土)</td><td>書写・ドローイング（中1） ドローイング（中2） サマーキャンプ事前学習(中3)</td></tr><tr><td>6 月 26 日(土)</td><td>書写・ドローイング（中1） サマーキャンプ事前学習（中2） 発酵学習（中3）</td></tr><tr><td>7 月 10 日(土)</td><td>平和学習・書写（中1） 夏のOPEN DAY事前準備(中3)</td></tr><tr><td>7 月 15 日(木)</td><td>プログラミング（中3）</td></tr><tr><td>7 月 16 日(金)</td><td>プログラミング（中3）</td></tr><tr><td>7 月 17 日(土)</td><td>平和学習（中1～中3）</td></tr><tr><td>7 月 18 日(日)</td><td>夏のOPEN DAY（中3）</td></tr></table> 〔2学期〕 <table><tr><td>8 月 25 日(水)</td><td>プログラミング（中3）</td></tr><tr><td>8 月 26 日(木)</td><td>プログラミング（中2・中3）</td></tr><tr><td>8 月 27 日(金)</td><td>プログラミング（中1・中2）</td></tr></table>	4 月 9 日(金)	学校探検ツアー準備（中2）	4 月 10 日(土)	学校探検ツアー（中1・中2）	4 月 17 日(土)	泥リンピック事前準備(中1・中2)	4 月 17 日(土)	瀬野川クリーン大作戦準備(中3)	5 月 1 日(土)	田植え事前学習（中1・中2）	5 月 1 日(土)	関西研修事前学習（中3）	5 月 15 日(土)	関西圏事前学習（中3）	5 月 21 日(金)	泥リンピック（中1・中2）	5 月 22 日(土)	泥リンピック振り返り(中1・中2)	5 月 22 日(土)	関西研修事前学習（中3）	5 月 29 日(土)	書写（中1） サマーキャンプ事前学習(中2) 瀬野川クリーン大作戦(中3)	6 月 5 日(土)	海田町マップ作り（中1） サマーキャンプ事前学習(中2・中3)	6 月 12 日(土)	座禅・探究学習（中1・中2） 探究学習（中3）	6 月 19 日(土)	書写・ドローイング（中1） ドローイング（中2） サマーキャンプ事前学習(中3)	6 月 26 日(土)	書写・ドローイング（中1） サマーキャンプ事前学習（中2） 発酵学習（中3）	7 月 10 日(土)	平和学習・書写（中1） 夏のOPEN DAY事前準備(中3)	7 月 15 日(木)	プログラミング（中3）	7 月 16 日(金)	プログラミング（中3）	7 月 17 日(土)	平和学習（中1～中3）	7 月 18 日(日)	夏のOPEN DAY（中3）	8 月 25 日(水)	プログラミング（中3）	8 月 26 日(木)	プログラミング（中2・中3）	8 月 27 日(金)	プログラミング（中1・中2）
4 月 9 日(金)	学校探検ツアー準備（中2）																																															
4 月 10 日(土)	学校探検ツアー（中1・中2）																																															
4 月 17 日(土)	泥リンピック事前準備(中1・中2)																																															
4 月 17 日(土)	瀬野川クリーン大作戦準備(中3)																																															
5 月 1 日(土)	田植え事前学習（中1・中2）																																															
5 月 1 日(土)	関西研修事前学習（中3）																																															
5 月 15 日(土)	関西圏事前学習（中3）																																															
5 月 21 日(金)	泥リンピック（中1・中2）																																															
5 月 22 日(土)	泥リンピック振り返り(中1・中2)																																															
5 月 22 日(土)	関西研修事前学習（中3）																																															
5 月 29 日(土)	書写（中1） サマーキャンプ事前学習(中2) 瀬野川クリーン大作戦(中3)																																															
6 月 5 日(土)	海田町マップ作り（中1） サマーキャンプ事前学習(中2・中3)																																															
6 月 12 日(土)	座禅・探究学習（中1・中2） 探究学習（中3）																																															
6 月 19 日(土)	書写・ドローイング（中1） ドローイング（中2） サマーキャンプ事前学習(中3)																																															
6 月 26 日(土)	書写・ドローイング（中1） サマーキャンプ事前学習（中2） 発酵学習（中3）																																															
7 月 10 日(土)	平和学習・書写（中1） 夏のOPEN DAY事前準備(中3)																																															
7 月 15 日(木)	プログラミング（中3）																																															
7 月 16 日(金)	プログラミング（中3）																																															
7 月 17 日(土)	平和学習（中1～中3）																																															
7 月 18 日(日)	夏のOPEN DAY（中3）																																															
8 月 25 日(水)	プログラミング（中3）																																															
8 月 26 日(木)	プログラミング（中2・中3）																																															
8 月 27 日(金)	プログラミング（中1・中2）																																															

		8月28日(土)	プログラミング・ひまわりフォトコンテスト(中1) 茶華道・探究学習(中2・中3)
		9月11日(土)	稲刈り事前学習・探究学習(中1) 茶華道・秋のOPEN DAY事前準備(中2) 茶華道・フィールドワーク事前学習(中3)
		9月18日(土)	探究学習・書写(中1) 茶華道・稲刈り事前学習(中2) 茶華道・探究学習(中3)
		9月25日(土)	フィールドワーク事前学習 秋のOPEN DAY事前準備(中1・中2) 瀬野川クリーン大作戦(中3)
		9月26日(日)	秋のOPEN DAY(中1・中2)
		10月1日(金)	稲刈り(中1・中2)
		10月2日(土)	フィールドワーク事前学習・稲刈り振り返り(中1・中2) 模擬裁判(中3)
		10月9日(土)	探究学習(中1) 茶華道・探究学習(中2・中3)
		10月14日(土)	みやじまフィールドワーク(中1・中2) ASA ZOOフィールドワーク(中3)
		10月23日(土)	フィールドワーク振り返り・書写(中1) 探究学習・関西研修事前学習(中2) 探究学習・進学説明会(中3)
		10月30日(土)	探究学習・文化祭準備(中1) 茶華道・関西研修事前学習(中2) 茶華道・文化祭準備(中3)
		11月6日(土)	文化祭準備・探究学習(中1) 茶華道・文化祭準備(中2) 茶華道・文化祭準備(中3)
		11月13日(土)	文化祭準備(中1～中3)
		11月27日(土)	探究学習・冬のOPEN DAY事前準備(中1) 冬のOPEN DAY事前準備・探究学習(中2) JICA出前授業(中3)
		12月4日(土)	探究学習・冬のOPEN DAY事前準備(中1) 冬のOPEN DAY事前準備・茶華道(中2) 研修旅行事前学習・茶華道(中3)
		12月11日(土)	冬のOPEN DAY事前準備(中1・中2) 探究学習(中3)
		12月15日(水)	プログラミング(中2・中3)
		12月16日(木)	プログラミング(中1・中2)
		12月17日(金)	プログラミング(中1)

		〔3 月学期〕
		1 月 14 日(金) 探究発表（中1） 中1 探究発表見学（中2）
		1 月 15 日(土) 探究発表（中2） 中2 探究発表見学（中2） 探究学習（中3）
		1 月 20 日(木) 書写（中1）
		1 月 22 日(土) 百人一首大会事前学習(中1・中2) 探究学習・茶華道（中3）
		1 月 26 日(水) 書初め大会（中1～中3）
		2 月 5 日(土) 百人一首大会（中1・中2） 国際テトラスロン事前準備(中3)
		2 月 12 日(土) 国際テトラスロン(中1～中3)
		2 月 19 日(土) レシテーションコンテスト(中1・中2) 藍染め（中3）
		2 月 26 日(土) 座禅 道心寺（中1） お米の科学（中2） 探究学習（中3）
		3 月 9 日(水) プログラミング（中3）
		3 月 10 日(木) プログラミング（中2・中3）
		3 月 11 日(金) プログラミング（中1・中2）
		3 月 12 日(土) プログラミング（中1） 瀬野川クリーン大作戦（中2） 卒業論文発表リハーサル（中3）
		3 月 17 日(木) 中3 卒業論文発表見学 （中1・中2） 卒業論文発表（中3）

5 生徒募集

実施目標・計画	実施予定年度	実績
(1) 令和3年度に実施した次の募集活動について、引き続き取り組む。 ①配付用パンフレット・チラシ・ポスター等作成 ・国際交流課と連携し、本校・系列高校の行事等を日本語と英語で説明したカレンダーを作成 ②小学校訪問 ③各塾での説明会 ④小学生・保護者対象入試説明会 ⑤私塾対象入試説明会 ⑥オープンスクール小学生対象 ⑦私学フェスタ ⑧保護者対象学校見学会 ⑨保護者対象イブニング説明会	平30年度～	高校「6 生徒募集活動」参照
(2) 地道なPR活動を通して入学者増に繋げる。	〃	

6 学校評価

実施目標・計画	実施予定年度	実績
〔学校評価（主に自己評価・学校関係評価）の実施〕 1年度の間及び学期末に実施し、教育活動や組織運営、保護者・地域とのコミュニケーションの充実を図る。	平 31 年度～	高校「7 学校評価」参照

余 白

Ⅲ 財務の概要

■決算の状況〔資金収支計算書の状況〕

(単位：千円)

科目	収入の部		
	令3年度		
	㊦予算	㊧決算	㊨＝㊦－㊧差異
A 学生生徒等納付金収入	1,241,743	1,217,199	24,544
B 手数料収入	21,319	27,235	△ 5,916
C 寄付金収入	2,054	1,456	598
D 補助金収入	556,982	546,957	10,025
E 資産売却収入	913,478	913,478	0
F 付随事業・収益事業収入	3,573	2,863	710
G 受取利息・配当金収入	19,600	19,287	313
H 雑収入	8,284	7,250	1,034
I 借入金等収入	0	0	0
J 前受金収入	200,210	177,013	23,198
K その他の収入	59,331	66,956	△ 7,625
L 資金収入調整勘定	△ 140,453	△ 162,594	22,141
M 計 (A～Lの合計)	2,886,121	2,817,099	69,022
N 前年度繰越支払資金	2,520,726	2,520,726	
O 収入の部合計 (M+N)	5,406,847	5,337,825	69,022
A 人件費支出	1,344,679	1,342,453	2,226
B 教育研究経費支出	644,369	518,215	126,154
C 管理経費支出	232,988	145,035	87,953
D 借入金等利息支出	22,133	22,132	1
E 借入金等返済支出	270,834	270,834	0
F 施設関係支出	2,951	2,908	43
G 設備関係支出	23,898	21,903	1,995
H 資産運用支出	13,822	12,339	1,483
I その他の支出	247,593	238,301	9,292
J 〔予備費〕	32,794		32,794
K 資金支出調整勘定	△ 48,113	△ 51,462	3,349
L 計 (A～Kの合計)	2,787,948	2,522,658	265,290
M 翌年度繰越支払資金	2,618,900	2,815,166	△ 196,266
N 支出の部合計 (L+M)	5,406,847	5,337,825	69,022

■決算の状況〔事業活動収支計算書の状況〕

(単位：千円)

		科 目	令3年度		
			㊦予算	㊦決算	㊦＝㊦－㊦差異
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	1,241,743	1,217,199	24,544
		手数料	21,319	27,235	△ 5,916
		寄付金	2,120	2,059	61
		経常費等補助金	556,982	546,957	10,025
		付随事業収入	3,573	2,863	710
		雑収入	8,284	20,383	△ 12,099
		① 教育活動収入計	1,834,021	1,816,696	17,325
	事業活動支出の部	人件費	1,329,308	1,325,599	3,709
		教育研究経費	1,098,321	942,972	155,349
		管理経費	298,481	200,696	97,785
		微収不能引当金繰入額	1,052	1,051	1
		②教育活動支出計	2,727,162	2,470,319	256,843
		A 教育活動収支差額	△ 893,141	△ 653,623	△ 239,518
教育活動外収支	事業活動収入の部	受取利息・配当金	19,600	19,287	313
		その他の教育活動外収入	0	0	0
		③教育活動外収入計	19,600	19,287	313
	事業活動支出の部	借入金等利息	22,133	22,132	1
		その他の教育活動外支出	0	0	0
		④教育活動外支出計	22,133	22,132	1
	B 教育活動外収支差額	△ 2,533	△ 2,846	313	
C 経常収支差額		△ 895,674	△ 656,469	△ 239,205	
特別収支	事業活動収入の部	資産売却差額	228,850	228,851	△ 1
		その他の特別収入	740	1,597	△ 857
		⑤特別収入計	229,590	230,447	△ 857
	事業活動支出の部	資産処分差額	1,263	1,263	0
		その他の特別支出	0	0	0
		⑥特別支出計	1,263	1,263	0
	D 特別収支差額	228,327	229,185	△ 857	
E 〔予備費〕		32,143		32,143	
F 基本金組入前当年度収支差額		△ 699,489	△ 427,284	△ 272,205	
G 基本金組入額合計		△ 230,096	△ 258,484	28,388	
H 当年度収支差額		△ 929,585	△ 685,768	△ 243,817	
I 前年度繰越収支差額		△ 6,924,897	△ 6,924,897	0	
J 基本金取崩額		0	1,251	△ 1,251	
K 翌年度繰越収支差額		△ 7,854,482	△ 7,609,414	△ 245,068	
L 事業活動収入計 (①+③+⑤)		2,083,211	2,066,430	16,781	
M 事業活動支出計 (②+④+⑥+〔予備費〕)		2,782,700	2,493,714	288,986	

資産の部		
科目		本年度末
資産の部	A 固定資産 (①+②+③)	16,616,281
	①有形固定資産	12,951,674
	土地	3,118,189
	建物	8,438,035
	構築物	974,025
	教育研究用機器備品	154,384
	管理用機器備品	20,672
	図書	242,740
	車両	3,629
	建設仮勘定	0
	②特定資産	752,068
	第3号基本金引当特定資産	260,189
	森奨学融資引当特定資産	20,000
	退職給与引当特定資産	365,959
	急減対策引当特定資産	105,920
	③その他の固定資産	2,912,539
	電話加入権	3,192
	有価証券	2,909,346
	B 流動資産 (④～⑦)	2,833,826
	④現金預金	2,815,166
	⑤未収入金	17,518
	⑥前払金	1,100
	⑦仮払金	43
	C 資産の部合計 (A+B)	19,450,107
負債及び純資産の部		
科目		⑦ 本年度末
負債の部	D 固定負債	5,804,948
	長期借入金	5,438,989
	退職給与引当金	365,959
	E 流動負債	592,423
	短期借入金	270,834
	未払金	50,168
	前受金	177,013
	預り金	94,408
	F 負債の部合計 (D+E)	6,397,371
純資産の部	G 基本金	20,662,150
	第1号基本金	20,195,961
	第3号基本金	260,189
	第4号基本金	206,000
	H 繰越収支差額	△ 7,609,414
	翌年度繰越収支差額	△ 7,609,414
	I 純資産の部合計 (G+H)	13,052,736
J 負債及び純資産の部合計 (F+I)		19,450,107

■参考（資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表について）

- (1) 資金収支計算書
- ☐ 資金収支計算書は、学校法人における資金の収入・支出状況を記載したものです。
 - ☐ ここでは、学生生徒等納付金や補助金といった収入ばかりでなく、借入金のような後に返済しなければならないものも含めて、学校法人に入ってきたすべての現金は「収入」として記載します。
 - ☐ 同様に、学校法人から出ていった現金はすべて支出として定義されます。
 - ☐ したがって、人件費や教育研究経費として支払った部分だけでなく、例えば株式への投資も、「株式を購入したために現金を支出した。」といったようにとらえて資金収支計算書では支出の部に記載することになります。

- (2) 事業活動収支計算書
- ☐ 学校法人会計基準第 15 条（「当該会計年度の事業活動収入及び事業活動支出の内容並びに均衡の状態を明らかにするため、事業活動収支計算を行なうものとする。」）で定めるところにより、事業活動収支計算書の収入の部には、その年度の教育研究活動等の成果とみなすことができる収入を記載します。なお、借入金など返済しなければならない収入は、一時的に学校に収められたに過ぎず、事業活動収支計算書には記載しないことになります。
 - ☐ 例えば、教育研究用機器備品などを現物寄附してもらったような場合、現金そのものの授受が生じないため資金収支計算書には記載しないことになりますが、事業活動収支計算書では現物寄附は財産の増加になることから、その額を評価して記載することになります。
 - ☐ 一方、減価償却費のような現金をとみなわない経費であっても、建物等は経年するごとに財産の価値が減少するから、資金収支計算書には記載しないが、事業活動収支計算書の支出の部に記載することになります。

- (3) 貸借対照表
- ☐ 学校法人が保有する資産は、固定資産と流動資産です。

固定資産	原則として 1 年以上にわたって保有するものとみなされている資産を指し、内容は有形固定資産（土地や建物等）及びその他の固定資産（長期的に保有することとなっている有価証券等）となっています。
流動資産	現金預金や一時的に保有する有価証券等を記載したものです。

- ☐ 学校法人の負債は、固定負債及び流動負債です。

固定負債	長期借入金、退職給与引当金その他 1 年を超えて返済や支給が到来するものを含みます。
流動負債	短期借入金その他 1 年以内に返済期限が到来するものを含みます。

- ☐ また基本金は、自己資金によって購入した施設・設備等の取得額あるいは学校法人の円滑な運営に必要な運転資金の額です。